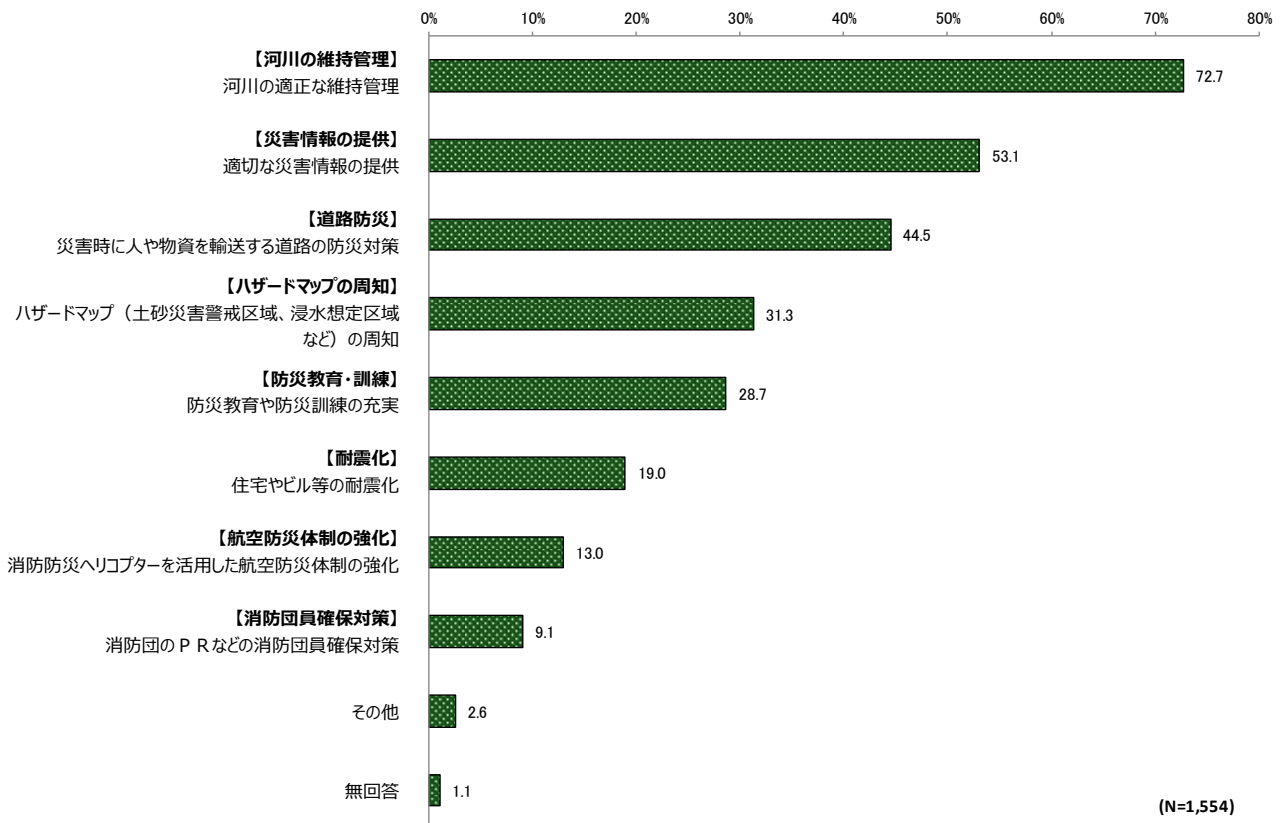


## 9. 災害へ備えた安全な県土であるために県に取り組んでほしいこと

問 9 地震や台風などの災害へ備えた安全な県土であるために県に取り組んでほしいと思うものを教えてください。(○は3つまで)



全体では、「河川の維持管理」が72.7%と最も高く、次いで「災害情報の提供」が53.1%、「道路防災」が44.5%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	河川の維持管理	災害情報の提供	道路防災	ハザードマップの周知	防災教育・訓練	耐震化	航空防災体制の強化	消防団員確保対策	その他	無回答
全体	1,554	72.7%	53.1%	44.5%	31.3%	28.7%	19.0%	13.0%	9.1%	2.6%	1.1%
佐賀・小城地区	560	75.2%	52.1%	42.3%	30.5%	25.9%	21.1%	12.0%	8.4%	3.9%	1.1%
東・西松浦地区	348	65.2%	55.7%	49.4%	29.0%	27.0%	20.1%	16.1%	10.6%	1.4%	1.4%
三養基・神埼地区	344	73.5%	53.8%	43.3%	34.6%	27.9%	20.3%	12.5%	8.1%	1.2%	0.9%
杵島・藤津地区	278	77.3%	51.1%	46.8%	32.0%	36.7%	11.2%	12.2%	9.7%	3.2%	0.4%

エリア別で見ると、すべての地区で「河川の維持管理」が最も高く、次いで「災害情報の提供」、「道路防災」となっている。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	河川の維持管理	災害情報の提供	道路防災	ハザードマップの周知	防災教育・訓練	耐震化	航空防災体制の強化	消防団員確保対策	その他	無回答
全体	1,554	72.7%	53.1%	44.5%	31.3%	28.7%	19.0%	13.0%	9.1%	2.6%	1.1%
男性	686	74.5%	47.5%	45.5%	31.8%	29.2%	18.1%	15.0%	13.0%	2.6%	1.0%
女性	814	71.6%	57.5%	44.5%	31.0%	28.6%	20.1%	11.4%	5.9%	2.6%	1.0%
答えたくない	26	73.1%	65.4%	42.3%	34.6%	15.4%	3.8%	11.5%	3.8%	3.8%	0.0%

性別で見ると、〈男性〉、〈女性〉、〈答えたくない〉ともに「河川の維持管理」が最も高く、7割を超えている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	河川の維持 管理	災害情報の 提供	道路防災	ハザード マップの周 知	防災教育・ 訓練	耐震化	航空防災体 制の強化	消防団員確 保対策	その他	無回答
全 体	1,554	72.7%	53.1%	44.5%	31.3%	28.7%	19.0%	13.0%	9.1%	2.6%	1.1%
18～19歳	3	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	63.9%	54.2%	42.2%	39.8%	22.9%	30.1%	6.0%	9.6%	1.2%	0.0%
30～39歳	140	69.3%	53.6%	42.9%	35.0%	27.1%	30.0%	11.4%	8.6%	1.4%	0.0%
40～49歳	297	73.4%	51.5%	48.1%	29.6%	22.6%	23.6%	11.4%	6.1%	5.1%	0.7%
50～59歳	330	71.8%	56.7%	45.2%	35.5%	25.2%	16.4%	14.8%	7.0%	2.1%	0.3%
60～69歳	412	77.4%	53.9%	46.6%	26.9%	30.8%	15.8%	14.3%	6.8%	1.7%	1.7%
70～79歳	238	73.1%	48.7%	41.6%	32.4%	37.0%	10.9%	13.4%	18.5%	2.5%	2.1%
80歳以上	27	59.3%	55.6%	25.9%	18.5%	55.6%	18.5%	18.5%	22.2%	7.4%	0.0%

年齢別で見ると、すべての年齢で「河川の維持管理」が最も高く、約 6 割から 8 割弱となっている。

## 【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	河川の維持 管理	災害情報の 提供	道路防災	ハザード マップの周 知	防災教育・ 訓練	耐震化	航空防災体 制の強化	消防団員確 保対策	その他	無回答
全 体	1,554	72.7%	53.1%	44.5%	31.3%	28.7%	19.0%	13.0%	9.1%	2.6%	1.1%
1人世帯	121	72.7%	51.2%	47.9%	28.1%	33.1%	17.4%	15.7%	9.9%	2.5%	0.8%
夫婦だけ	357	75.1%	51.8%	41.7%	32.2%	30.0%	16.5%	14.0%	10.1%	2.2%	1.7%
2世代	718	72.7%	54.2%	46.5%	31.1%	26.5%	19.9%	12.3%	8.4%	3.3%	0.8%
3世代	296	72.0%	52.4%	44.9%	31.8%	30.4%	20.9%	13.2%	10.1%	1.4%	0.3%
その他	35	71.4%	65.7%	37.1%	31.4%	28.6%	14.3%	11.4%	2.9%	2.9%	0.0%

家族構成別で見ると、すべての家族構成で「河川の維持管理」が最も高く、7 割となっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	河川の維持 管理	災害情報の 提供	道路防災	ハザード マップの周 知	防災教育・ 訓練	耐震化	航空防災体 制の強化	消防団員確 保対策	その他	無回答
全 体	1,554	72.7%	53.1%	44.5%	31.3%	28.7%	19.0%	13.0%	9.1%	2.6%	1.1%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	71.3%	52.2%	44.3%	30.2%	29.5%	20.0%	14.9%	9.9%	1.3%	1.0%
2年未満	84	72.6%	57.1%	40.5%	38.1%	34.5%	14.3%	10.7%	11.9%	1.2%	1.2%
2～5年未満	229	78.6%	52.4%	45.4%	25.8%	27.1%	22.7%	11.4%	8.3%	2.6%	1.3%
5～10年未満	149	69.1%	49.7%	40.9%	33.6%	31.5%	17.4%	13.4%	8.1%	6.0%	0.0%
10年以上	384	73.2%	54.4%	47.7%	34.6%	26.6%	16.9%	11.2%	8.3%	3.6%	1.0%

居住歴別で見ると、すべての居住年数で「河川の維持管理」が最も高く、7 割前後となっている。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 災害地域への支援金を増やして欲しい。ペットと避難できる仮設住宅。(女性 / 20～29 歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 災害後の生活の保障。(女性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 災害時の十分な備蓄。(女性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 雨水用の河川(水路)に面した住宅への護岸補強工事補助。(答えたくない / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ (佐賀) 駅前が水没するのを対策してほしい。佐賀の発展が遅れ、商業が発展しない。(男性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 大雨に対する備え。(男性 / 40～49 歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 防災放送の改善(大雨、台風の時、全然聞こえない)。(男性 / 40～49 歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 水害対策。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 水害時に車で一晩過ごすことのできる場所の確保(商業施設の屋上とか)。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 避難時のペット同伴、個別の家族単位での部屋の確保(プライベート重視)。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 土砂災害警戒区域の要因排除。(男性 / 40～49 歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 山林の整備。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 教育レベルを高めないで 1～8 の施策の意義を理解できず意味を持ちにくいと思います。佐賀大学の学生の中でも優秀な人は残念ながら県外出身者が多いです。(男性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 毎年、大雨時に川が氾濫するのではないかと不安を感じる。根本的な対策はないのかと思う。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)

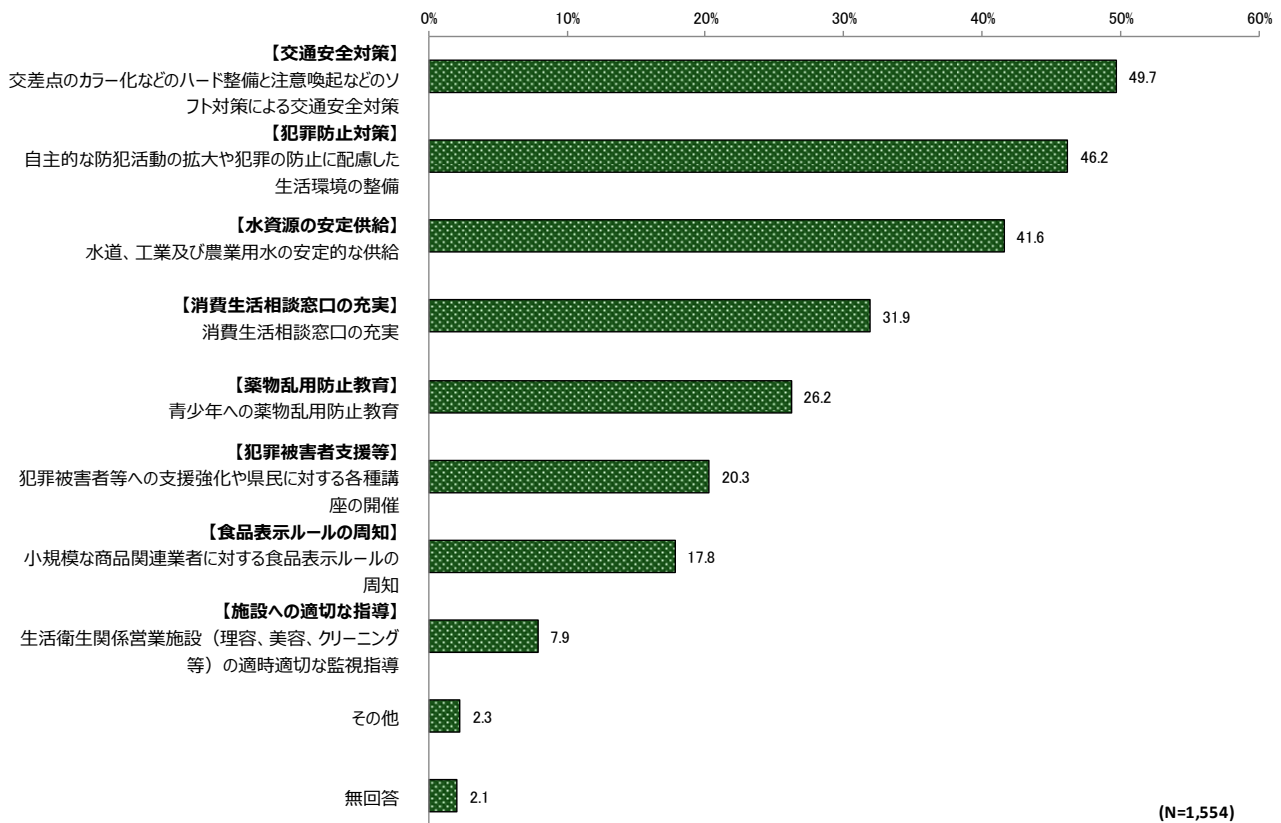
- 佐賀市内は、最近よく浸水するようになったので、車の被害も多いと感じます。大雨が予想される時は、人間だけでなく、車やペットを移動できる場所の案内があれば、ありがたいです。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 離島在住ではないが、離島在住者の災害時の支援。(男性 / 40~49 歳 / 東・西松浦地区)
- 同じ税金を払っているのだから、防災区画整備などを一部地区だけでなく、均等に行ってほしい。(男性 / 40~49 歳 / 杵島・藤津地区)
- レッドゾーンの公共施設の移転を要望します。松梅保育所並びに松梅小学校はレッドゾーンにかかっており、安心して子どもを預けることができないため。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 鳥栖市の筑後川の近くに住んでいますが、とても怖いです。水害があったら大きなことになると思います。水門の工事があと 3 年終わらず、川の工事はまだです。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 浸水対策工事を進めてもらいたい。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 昨年 8 月の水害では多くの床上浸水が発生した。今の六角川だけでは処理できない。並行して海に通じる巨大な水路を作って欲しい。三度の水害はありえない。(男性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 道路の整備。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 防災避難時の犬や猫をはじめ、同居する動物たちが一緒に避難できる仕組みづくり。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 災害時の蓄電池整備、核ミサイルや飛翔体に備えた地下避難施設等の整備。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 家屋の台風にも耐える強化対策の補助金制度。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 防災などのハード面だけでなく、県民における意識の面にも踏みこむべきだと思う。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- ダムの近くなのでダムの深さなども調査してほしい。腐葉土が蓄積されて浅くなっていると思います。(女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 氾濫しやすい河川の整備、低床公園など冠水したら即処理できる仕組みなど。防災より災害に強い、安心して住める環境づくりを望みます。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 排水能力の向上。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 誰にでも平等にわかる防災のあり方。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 河川改修。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 水門など県・市で管理しているものを市で行ってほしい。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 自然災害(大風、大雨)事前対策。(男性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)
- 障害者用の避難所(車いす・酸素マスク使用者等)。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 緊急時に専用道路などの開放とハザードマップへの書き入れ。(女性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)
- 水田、クレーク等の貯水機能維持のために、これ以上の宅地化を止める。(男性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 僻地対策を。(男性 / 80 歳以上 / 東・西松浦地区)
- 新幹線フル規格で推進。(女性 / 80 歳以上 / 杵島・藤津地区)

## 【自由意見】

- 冠水への対応、原油高騰による第一次産業への補助。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 大雨時の佐賀市内(片田江、本庄、水ヶ江など)がひどすぎる。特に佐賀大学の辺りは短時間の場合でも雨量があるとすぐに道路が冠水するので、どうかしてほしい。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 大雨などの防災に力を入れていただきたい。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 地域の防災無線が聞き取りにくいので、各家庭に防災無線機を置いてほしい。また、介護士さんの給与を上げてほしい。そして、H S P 気質の人が生きやすい社会になってほしい。(女性 / 30~39 歳 / 東・西松浦地区)
- 防災、河川の工事に力を入れてほしい。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)

## 10. 安心して生活するために県に取り組んでほしいこと

問 10 防犯、食品の安全、消費者の保護など安心して生活するために県に取り組んでほしいと思うものを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「交通安全対策」が 49.7%と最も高く、次いで「犯罪防止対策」が 46.2%、「水資源の安定供給」が 41.6%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	交通安全対策	犯罪防止対策	水資源の安定供給	消費生活相談窓口の充実	薬物乱用防止教育	犯罪被害者支援等	食品表示ルールの周知	施設への適切な指導	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	46.2%	41.6%	31.9%	26.2%	20.3%	17.8%	7.9%	2.3%	2.1%
佐賀・小城地区	560	49.3%	45.0%	40.2%	31.3%	26.1%	21.4%	18.9%	7.7%	2.1%	1.6%
東・西松浦地区	348	48.3%	42.5%	40.5%	33.6%	30.7%	20.4%	18.4%	9.2%	2.3%	2.0%
三養基・神埼地区	344	54.7%	47.7%	41.3%	33.4%	24.4%	20.1%	14.8%	7.8%	1.5%	2.0%
杵島・藤津地区	278	48.6%	52.9%	47.1%	28.8%	22.7%	17.3%	18.3%	6.8%	3.6%	2.5%

エリア別でみると、<杵島・藤津地区>を除く地区では「交通安全対策」が最も高く、5割前後となっている。一方、<杵島・藤津地区>では「犯罪防止対策」が最も高くなっている。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	交通安全対策	犯罪防止対策	水資源の安定供給	消費生活相談窓口の充実	薬物乱用防止教育	犯罪被害者支援等	食品表示ルールの周知	施設への適切な指導	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	46.2%	41.6%	31.9%	26.2%	20.3%	17.8%	7.9%	2.3%	2.1%
男性	686	51.6%	44.9%	45.3%	34.5%	27.4%	22.0%	15.5%	7.4%	2.3%	2.0%
女性	814	49.0%	48.3%	38.6%	29.5%	25.3%	18.7%	19.8%	8.6%	2.2%	1.8%
答えたくない	26	46.2%	30.8%	50.0%	30.8%	15.4%	19.2%	15.4%	0.0%	3.8%	3.8%

性別でみると、＜男性＞、＜女性＞ともに「交通安全対策」が最も高くなっている。一方、＜答えたくない＞では「水資源の安定供給」が最も高くなっている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	交通安全対策	犯罪防止対策	水資源の安定供給	消費生活相談窓口の充実	薬物乱用防止教育	犯罪被害者支援等	食品表示ルールの周知	施設への適切な指導	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	46.2%	41.6%	31.9%	26.2%	20.3%	17.8%	7.9%	2.3%	2.1%
18～19歳	3	66.7%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	44.6%	34.9%	36.1%	26.5%	21.7%	16.9%	18.1%	21.7%	2.4%	3.6%
30～39歳	140	53.6%	43.6%	47.9%	24.3%	26.4%	23.6%	17.9%	9.3%	2.9%	0.0%
40～49歳	297	57.9%	41.4%	44.1%	24.2%	26.3%	20.9%	15.5%	8.1%	2.0%	2.4%
50～59歳	330	47.0%	42.4%	47.0%	38.5%	26.4%	19.1%	15.2%	6.4%	2.4%	1.2%
60～69歳	412	48.3%	53.6%	40.0%	34.0%	24.0%	21.1%	18.0%	7.0%	1.7%	1.7%
70～79歳	238	48.7%	51.3%	34.0%	34.5%	31.1%	19.3%	23.9%	5.9%	2.9%	3.4%
80歳以上	27	40.7%	48.1%	33.3%	33.3%	25.9%	14.8%	14.8%	7.4%	3.7%	3.7%

年齢別でみると、59歳以下では「交通安全対策」が最も高く、60歳以上では「犯罪防止対策」が最も高くなっている。

## 【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	交通安全対策	犯罪防止対策	水資源の安定供給	消費生活相談窓口の充実	薬物乱用防止教育	犯罪被害者支援等	食品表示ルールの周知	施設への適切な指導	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	46.2%	41.6%	31.9%	26.2%	20.3%	17.8%	7.9%	2.3%	2.1%
1人世帯	121	41.3%	47.1%	34.7%	39.7%	27.3%	23.1%	21.5%	10.7%	1.7%	2.5%
夫婦だけ	357	49.3%	48.2%	35.0%	35.3%	27.7%	21.3%	19.9%	6.2%	2.2%	2.8%
2世代	718	50.7%	45.0%	43.6%	31.2%	24.0%	20.1%	14.9%	9.5%	3.1%	1.8%
3世代	296	53.4%	47.3%	46.6%	28.4%	28.7%	18.2%	20.6%	5.7%	1.0%	1.0%
その他	35	51.4%	48.6%	60.0%	14.3%	28.6%	22.9%	22.9%	2.9%	0.0%	0.0%

家族構成別でみると、＜1人世帯＞、＜その他＞を除く家族構成で「交通安全対策」が最も高くなっている。一方、＜1人世帯＞では「犯罪防止対策」が最も高くなっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	交通安全対策	犯罪防止対策	水資源の安定供給	消費生活相談窓口の充実	薬物乱用防止教育	犯罪被害者支援等	食品表示ルールの周知	施設への適切な指導	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	46.2%	41.6%	31.9%	26.2%	20.3%	17.8%	7.9%	2.3%	2.1%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	48.2%	47.3%	42.7%	32.1%	26.0%	20.8%	16.5%	7.8%	1.5%	2.8%
2年未満	84	48.8%	48.8%	34.5%	35.7%	29.8%	28.6%	17.9%	7.1%	2.4%	2.4%
2～5年未満	229	53.7%	41.9%	42.4%	31.0%	27.9%	17.5%	18.8%	7.0%	3.9%	0.9%
5～10年未満	149	47.7%	42.3%	44.3%	34.9%	28.2%	21.5%	16.8%	8.1%	1.3%	2.0%
10年以上	384	52.6%	47.9%	40.4%	30.2%	24.2%	19.3%	19.5%	8.3%	3.1%	0.8%

居住歴別でみると、すべての居住年数で「交通安全対策」が最も高くなっている。また、＜2年未満＞では「犯罪防止対策」も48.8%と高い結果となっている。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 食品加工品にも原産国の表示をしてほしい。(女性 / 20～29歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 高齢者向けの公共交通機関の充実。(男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 野菜などの残留農薬の危険性を表示して欲しい。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 主要道路の歩行者用の道の確保。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 暴走バイクの取締り、爆音走行を注意ではなく、やめさせて下さい。(女性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)

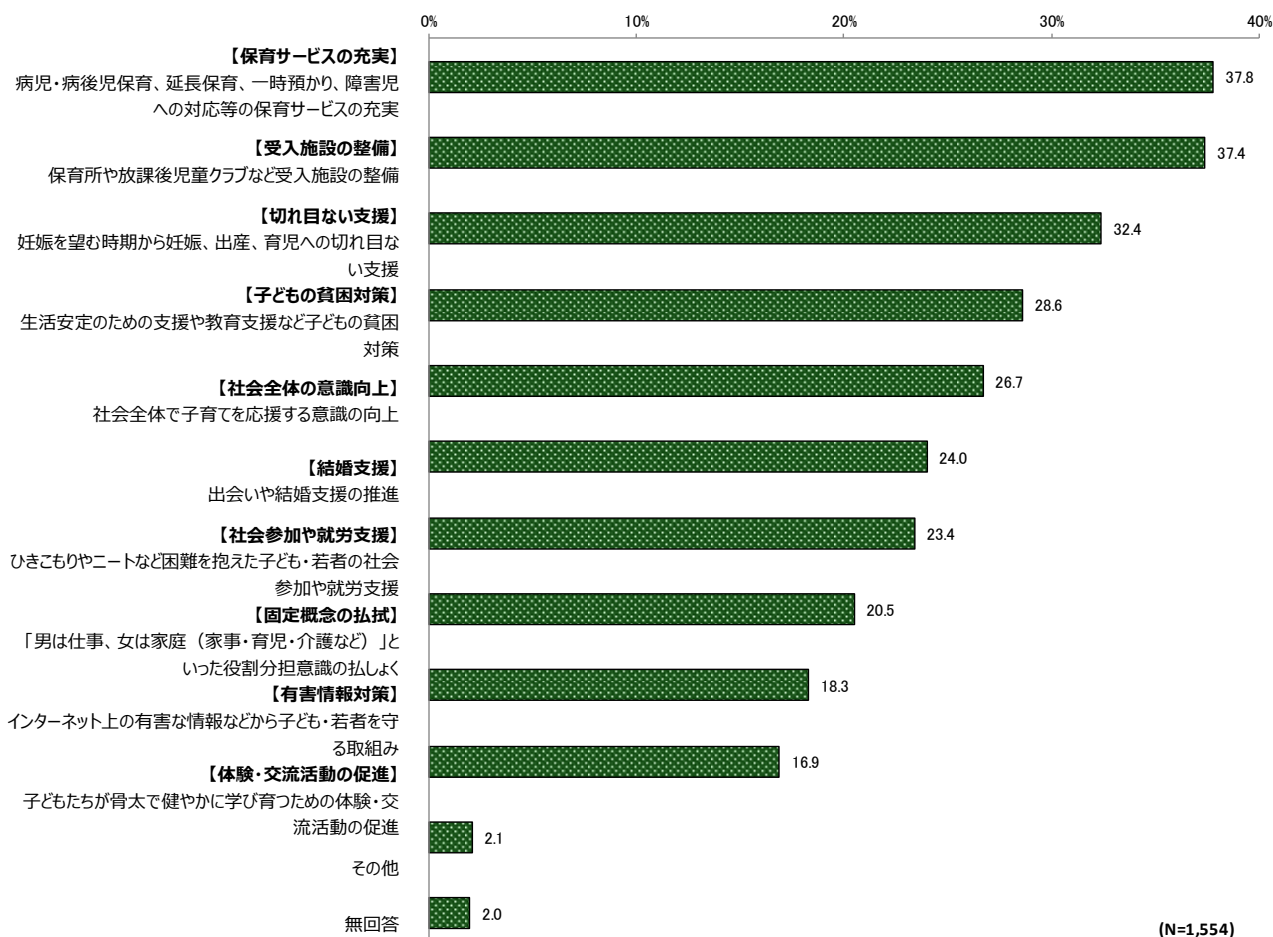
- 公共料金が高い。(男性 / 30~39 歳 / 東・西松浦地区)
- 防犯、食品の安全、消費者の保護に関わる内容で、勉強会、ワークショップ、講座などを開く。(答えたくない / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 高齢者の運転免許返納の義務化。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 教習所できちんと交通ルールや考え方を教えて欲しい。県外から来ましたが佐賀の方の運転は他の県と異質です。それが交通事故多発につながっていると思います。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 交通ルールを無視している車が多いと思うので、監視カメラの増設や、パトロールの強化をお願いしたい。また、結構横断歩道だけの交差点に限って、ラインが消えかかっている場所があるので、点検と補正をしてもらいたい。兵庫町のスーパーアルタの東側の交差点は小学生の、通学路のはずなのに、ラインが薄くて、「止まれ」の文字が消えています。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 県警との連携、CM、PR、指導。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 街灯を増やす。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 交通法規に従わない運転が多い。マイルール、ご当地ルールで運転されると怖い。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 成人年齢引き下げによる消費者保護などへの取り組み。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 自動車のルールの順守と取り締まりと指導。(男性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 自転車の指導(特に学生、若い人)。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 街灯増設の為に補助。(女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 食品の安全への情報提供。(女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 洪水が昨年ひどかった。水上ポンプの整備点検や指導をしてもらい、早く水が引く様にして欲しい。(女性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区)
- ドライバーのマナー向上。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 道路ラインに早めに修理ラインを引く。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 下水道の整備、公共交通の整備。人口が少ないから出来ないのではなく、役所が観光や留学などの外にばかり目がいて市民のことを考えていない。見かけばかりに目がいてるのではないですか？足が不自由になって車いすを使うようになって、迷惑と言われたことがあります。小城地区では生活がしにくいと思った。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 上水道の水質の安全性。(男性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- 警察官の増員をしてほしい。(男性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- 商品の過大包装が価格や社会に対して与える不安があるので対策を考えてほしい。(女性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- 坂口踏切の安全対策、小学生の登下校時に踏切を渡るが、もう少し子供の歩道を広く出来ないか。(男性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)
- 市内各所に防犯カメラを設置する。(男性 / 80 歳以上 / 三養基・神埼地区)

### 【自由意見】

- 県道の案内標識を充実させて欲しい。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 小学校などの通学路の安全性の向上をお願いしたい。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 警察官の交通以外のスキル向上！自動車免許所の場所変更。低所得者への住まい提供。(男性 / 30~39 歳 / 杵島・藤津地区)
- 夜間の暴走車両(バイク)の爆音をどうにかしてほしいです。注意だけではなく、何か対策をして頂きたいです。小さい子どもがいますが、せっかく寝かしたという時に暴走車両のうるさい音で、泣いて起きます。また、仕事で疲れているのにその音がうるさく、寝不足な日がよくあります。見て見ぬふり、ただ口で注意するのではなく、何か対策を作って頂きたいです。本当に迷惑でしかたありません。出来れば走ってほしくないくらいです。(女性 / 30~39 歳 / 三養基・神埼地区)
- 危険な箇所の信号機設置に力を入れてほしい。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)

## 1 1. 安心して子どもを産み、子育てができるために県に取り組んでほしいこと

問 11 安心して子どもを産み、子育てができる環境づくりのために県に取り組んでほしいと思うものを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「保育サービスの充実」と「受入施設の整備」がともに 4 割弱、次いで「切れ目のない支援」が 32.4%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	保育サービスの充実	受入施設の整備	切れ目のない支援	子どもの貧困対策	社会全体の意識向上	結婚支援	社会参加や就労支援	固定概念の払拭	有害情報対策	体験・交流活動の促進	その他	無回答
全体	1,554	37.8%	37.4%	32.4%	28.6%	26.7%	24.0%	23.4%	20.5%	18.3%	16.9%	2.1%	2.0%
佐賀・小城地区	560	38.4%	37.9%	32.1%	30.5%	23.4%	23.6%	25.5%	19.5%	18.8%	15.5%	2.5%	1.8%
東・西松浦地区	348	34.5%	37.6%	32.2%	28.4%	27.9%	26.1%	23.0%	20.7%	18.1%	19.8%	0.6%	1.7%
三養基・神埼地区	344	43.0%	39.2%	33.7%	27.9%	25.9%	20.3%	22.4%	21.5%	17.7%	16.9%	3.2%	2.3%
杵島・藤津地区	278	34.9%	34.9%	32.0%	26.6%	33.8%	26.6%	20.9%	20.1%	19.4%	16.9%	1.4%	1.4%

エリア別でみると、＜東・西松浦地区＞では「受入施設の整備」が最も高く、＜佐賀・小城地区＞＜三養基・神埼地区＞では「保育サービスの充実」が最も高くなっている。なお、＜杵島・藤津地区＞では両者とも最も高い結果となった。



## 【性別】

性別	回答件数 (件)	保育サービスの 充実	受入施設の 整備	切れ目ない 支援	子どもの貧 困対策	社会全体の 意識向上	結婚支援	社会参加や 就労支援	固定概念の 払拭	有害情報対 策	体験・交流 活動の促進	その他	無回答
全 体	1,554	37.8%	37.4%	32.4%	28.6%	26.7%	24.0%	23.4%	20.5%	18.3%	16.9%	2.1%	2.0%
男性	686	35.6%	36.2%	35.0%	31.0%	30.6%	29.7%	20.8%	14.3%	14.9%	17.1%	1.7%	2.3%
女性	814	39.9%	38.7%	30.1%	26.4%	24.2%	19.8%	25.2%	24.9%	21.9%	17.7%	2.1%	1.5%
答えたくない	26	42.3%	38.5%	42.3%	30.8%	11.5%	7.7%	30.8%	38.5%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%

性別で見ると、＜男性＞では「受入施設の整備」が最も高く、＜女性＞では「保育サービスの充実」が最も高い結果となった。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	保育サービスの 充実	受入施設の 整備	切れ目ない 支援	子どもの貧 困対策	社会全体の 意識向上	結婚支援	社会参加や 就労支援	固定概念の 払拭	有害情報対 策	体験・交流 活動の促進	その他	無回答
全 体	1,554	37.8%	37.4%	32.4%	28.6%	26.7%	24.0%	23.4%	20.5%	18.3%	16.9%	2.1%	2.0%
18～19歳	3	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	30.1%	27.7%	49.4%	25.3%	30.1%	34.9%	14.5%	25.3%	12.0%	20.5%	0.0%	1.2%
30～39歳	140	37.9%	48.6%	50.7%	30.7%	20.7%	20.0%	14.3%	20.7%	16.4%	15.0%	5.0%	0.0%
40～49歳	297	36.7%	34.7%	35.7%	27.9%	23.6%	17.5%	23.6%	25.3%	20.9%	19.2%	3.4%	1.3%
50～59歳	330	45.8%	35.5%	31.5%	31.5%	23.3%	20.0%	25.5%	21.2%	17.6%	16.7%	1.2%	0.9%
60～69歳	412	36.4%	42.7%	29.9%	29.4%	29.6%	28.6%	21.8%	16.7%	17.0%	15.0%	1.5%	2.2%
70～79歳	238	35.3%	32.8%	20.2%	25.6%	32.4%	26.1%	30.7%	17.6%	23.5%	18.5%	1.3%	3.8%
80歳以上	27	25.9%	29.6%	14.8%	22.2%	37.0%	40.7%	25.9%	14.8%	14.8%	22.2%	3.7%	7.4%

年齢別で見ると、ほとんどの年齢で「保育サービスの充実」、「受入施設の整備」、「切れ目ない支援」が高くなっている。一方、29歳以下、＜80歳以上＞では「結婚支援」も高い傾向が見られた。

## 【同居家族別】

同居家族	回答件数 (件)	保育サービスの 充実	受入施設の 整備	切れ目ない 支援	子どもの貧 困対策	社会全体の 意識向上	結婚支援	社会参加や 就労支援	固定概念の 払拭	有害情報対 策	体験・交流 活動の促進	その他	無回答
全 体	1,554	37.8%	37.4%	32.4%	28.6%	26.7%	24.0%	23.4%	20.5%	18.3%	16.9%	2.1%	2.0%
該当なし	294	34.4%	40.1%	27.6%	30.6%	26.5%	24.5%	23.5%	17.0%	17.0%	16.0%	2.0%	2.7%
0～2歳	87	41.4%	50.6%	50.6%	32.2%	28.7%	18.4%	5.7%	16.1%	17.2%	18.4%	5.7%	0.0%
3歳～小学校入学前	127	45.7%	48.0%	40.9%	26.8%	33.1%	16.5%	9.4%	16.5%	18.9%	28.3%	3.1%	0.0%
小学生	223	37.2%	39.5%	35.9%	27.4%	30.5%	14.3%	17.0%	21.1%	20.6%	26.5%	3.6%	0.9%
中学生	139	36.0%	35.3%	36.0%	27.3%	28.8%	18.7%	23.7%	26.6%	26.6%	16.5%	2.9%	1.4%
高校生・高等専修学校生	140	34.3%	27.9%	33.6%	25.0%	28.6%	17.1%	26.4%	32.9%	25.0%	18.6%	2.1%	0.0%
短大生・大学生・専門学校生	91	42.9%	33.0%	34.1%	29.7%	24.2%	22.0%	23.1%	22.0%	26.4%	19.8%	3.3%	0.0%
未婚の社会人	380	37.6%	34.7%	31.6%	28.2%	21.3%	31.6%	30.0%	21.8%	20.0%	12.9%	1.6%	2.1%
65歳以上の方	674	38.6%	35.5%	33.5%	27.9%	27.3%	28.0%	24.6%	20.6%	19.4%	16.6%	1.8%	1.3%

同居家族別に見ると、同居家族に小学生以下の子どもがいる家庭では「受入施設の整備」が高い傾向が見られた。一方、中学生以上の子ども、高齢者がいる家庭では「保育サービスの充実」も高い傾向となっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	保育サービスの 充実	受入施設の 整備	切れ目ない 支援	子どもの貧 困対策	社会全体の 意識向上	結婚支援	社会参加や 就労支援	固定概念の 払拭	有害情報対 策	体験・交流 活動の促進	その他	無回答
全 体	1,554	37.8%	37.4%	32.4%	28.6%	26.7%	24.0%	23.4%	20.5%	18.3%	16.9%	2.1%	2.0%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	38.5%	37.0%	32.2%	30.0%	25.8%	25.4%	22.8%	20.6%	19.2%	13.9%	1.7%	2.0%
2年未満	84	33.3%	34.5%	28.6%	27.4%	34.5%	27.4%	35.7%	15.5%	19.0%	22.6%	0.0%	1.2%
2～5年未満	229	36.7%	37.6%	34.5%	24.9%	28.4%	21.0%	22.3%	21.8%	17.0%	17.0%	2.2%	2.6%
5～10年未満	149	43.0%	36.9%	32.2%	24.2%	22.1%	26.8%	25.5%	21.5%	21.5%	17.4%	2.7%	1.3%
10年以上	384	36.5%	38.8%	33.3%	30.2%	27.3%	21.1%	22.1%	20.8%	15.1%	20.3%	3.1%	1.6%

居住歴別で見ると、ほとんどの居住年数で「保育サービスの充実」、「受入施設の整備」が高くなっている。また、＜2年未満＞では「社会参加や就労支援」が、他の層と比べて高い結果となった。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 企業の大型化により小規模企業が倒産していく事の阻止。（男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区）
- ・ 交通マナーの向上。（女性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区）
- ・ 育児中の母親をサポートする取り組み（特に身近に頼れる人がいない人への）。（女性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区）
- ・ 「男性は仕事、女性は家庭（家事、育児、介護等）」といった役割分担意識の拡充、促進。（男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区）
- ・ 保育士等の待遇向上、収入による保育料の差を無くす。（答えたくない / 30～39歳 / 三養基・神埼地区）



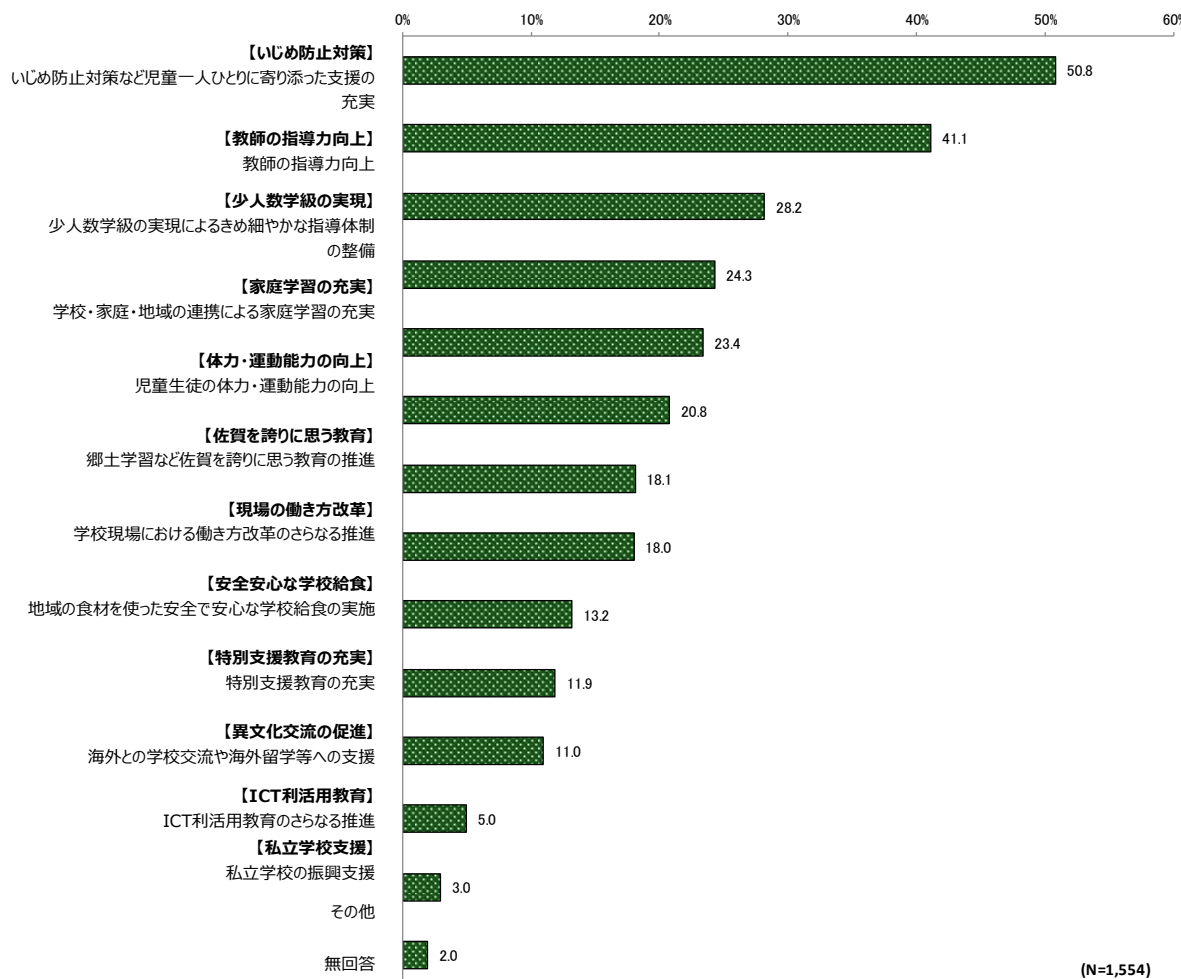
- 子育て世帯への財政支援。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 継続的な進学経済支援。(女性 / 30~39 歳 / 三養基・神埼地区)
- 家事代行支援等によるワンオペ育児者への負担軽減。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- シングルでも育てられる収入が得られるよう、正規職員での雇用の増加。シングルの方が保育所等に優先で入れるとか。そもそも全ての乳児や幼児を預かる仕組みを作ってほしい。小学生の時から、家事力、子育て力をつける長期的な取組←(未来の親づくりのカリキュラム)。(答えたくない / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 市町村によって子どもの医療への補助に差があるので、県でなんとかしてほしい。歩いて数分の隣町は医療補助がしっかりしていてもやましい。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 医療の無償化。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 子育て県をうたっていくのであれば、育休明けの手続き等の通知や案内を周知してください。4 月から妻の育休が明けて、職場復帰をしたのですが、上の子の保育園無償化が途切れてしまいました。保育園からもらった書類は提出していたのですが、年度途中の有効期限について、通知があるだけで、手続き忘れがなくなると感じます。無償化そのものは国の制度であるとしても、窓口は役場になるはず。我が家はそれなりに収入があるので、なんとかありますが、世帯によっては、少しの間が開くだけで、困る世帯もあると思います。また、市役所に尋ねても、知らない方が悪いという感じでした。この件については、知事にメールをしようと思っていたところでした。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 未満児の保育料の無償化。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 親になる人への子育て情報提供及び意識向上教育。(女性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 特に 3 人目の子育て支援(経済的支援)人口増加の役割貢献。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 子どもがいても働きやすい環境。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 教師の不祥事が多すぎる。しっかりと採用して欲しい。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 今、増えている発達障害の子どもへの教育の取組み。時には親の存在が足かせになる。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 保育園がないと預けて働くことが出来ない。男女共同参画にならないので、女性の自立の為に園が欲しい。(女性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区)
- 子どもへの虐待を防ぐ。日本中で虐待により死亡する子どもが 0 人になる日が来る様に。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 子どもの時から子どもを持つことの大切さの教育。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 名尾は、若者は皆出てしまい、後は年寄りばかり。どうなる事でしょうか。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 就業場所の確保。(女性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)
- 子どもと高齢者のスポーツイベントを行う。(男性 / 80 歳以上 / 三養基・神埼地区)
- 一人親の環境を良くしすぎると、子どもを産んですぐ離婚する若い人が多くなっている、あまりに手当を良くするのも考えものだと思います。(無回答)

## 【自由意見】

- 子育て支援に力を入れてほしい。(男性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 子育てをしている又はこれから子育てをする世代の支援に力を入れてほしい。(男性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 質問にもありましたが、産休前、産休中、育休中の支援をもう少し上げて欲しい。共働き世帯が増え、男と女の区別(差別)が酷すぎます。会社との連携も必要だが、子供のため、嫁のために休んで、評価が落ちるのはどうかと思います。昔はこうだからということはまだ言ってる人が多すぎだと思います。そのため県からの呼びかけも必要だと思います。この場で伝えても届かないと思いますが、一応伝えておきます。(男性 / 20~29 歳 / 三養基・神埼地区)
- いつも県民のためにご尽力いただき、ありがとうございます。また、このようなアンケートが届いたのは初めてでしたが、県民の意見をヒアリングしようという思いが感じられました。これから妊活や子育てを考えているので、働きながら子育てがしやすい県にもっとなってほしいなと感じています。(女性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 子育て中ですが、県からの出産祝いなどが無い。国からの手当ではありますが佐賀県でも祝い金などの取り組みをしたらいいと思います。小さい子より、大きくなってからの方がお金はかかります。入学の時に祝い金などあれば助かります。(収入関係なく。)(女性 / 20~29 歳 / 杵島・藤津地区)

## 1 2. 調和のとれた教育を行うために県に取り組んでほしいこと

問 12 子どもたちに「知（確かな学力）」、「徳（豊かな心）」、「体（健やかな体）」の調和のとれた教育を行うために県に取り組んでほしいと思うものを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「いじめ防止対策」が 50.8%と最も高く、次いで「教師の指導力向上」が 41.1%、「少人数学級の実現」が 28.2%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	いじめ防止対策	教師の指導力向上	少人数学級の実現	家庭学習の充実	体力・運動能力の向上	佐賀を誇りに思う教育	現場の働き方改革	安全安心な学校給食	特別支援教育の充実	異文化交流の促進	ICT活用教育	私立学校支援	その他	無回答
全体	1,554	50.8%	41.1%	28.2%	24.3%	23.4%	20.8%	18.1%	18.0%	13.2%	11.9%	11.0%	5.0%	3.0%	2.0%
佐賀・小城地区	560	52.5%	42.3%	27.1%	23.9%	21.1%	18.0%	19.1%	14.8%	14.6%	11.6%	13.2%	5.9%	3.6%	1.6%
東・西松浦地区	348	50.9%	40.5%	27.9%	25.0%	27.9%	22.4%	17.0%	19.0%	10.9%	12.4%	9.8%	5.2%	2.0%	2.3%
三養基・神埼地区	344	50.6%	43.3%	30.2%	22.4%	22.4%	18.9%	18.0%	20.3%	13.1%	14.5%	10.5%	4.1%	2.3%	2.3%
杵島・藤津地区	278	47.5%	37.4%	28.8%	26.6%	23.4%	27.3%	18.3%	20.1%	13.3%	9.0%	9.7%	3.6%	3.2%	1.4%

エリア別でみると、すべての地区で「いじめ防止対策」が最も高く、次いで「教師の指導力向上」となっている。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教師の指導 力向上	少人数学級 の実現	家庭学習の 充実	体力・運動 能力の向上	佐賀を誇り に思う教育	現場の働き 方改革	安全安心な 学校給食	特別支援教 育の充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	私立学校支 援	その他	無回答
全 体	1,554	50.8%	41.1%	28.2%	24.3%	23.4%	20.8%	18.1%	18.0%	13.2%	11.9%	11.0%	5.0%	3.0%	2.0%
男性	686	46.5%	42.9%	23.8%	26.1%	25.4%	24.6%	20.7%	13.8%	11.1%	13.6%	12.5%	3.6%	3.5%	2.2%
女性	814	54.3%	40.4%	32.4%	23.0%	21.7%	17.9%	16.1%	21.4%	14.7%	10.7%	10.0%	6.0%	2.2%	1.6%
答えたくない	26	61.5%	19.2%	11.5%	19.2%	23.1%	23.1%	15.4%	19.2%	15.4%	11.5%	15.4%	3.8%	7.7%	3.8%

性別でみると、〈男性〉、〈女性〉、〈答えたくない〉ともに「いじめ防止対策」が最も高くなっている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教師の指導 力向上	少人数学級 の実現	家庭学習の 充実	体力・運動 能力の向上	佐賀を誇り に思う教育	現場の働き 方改革	安全安心な 学校給食	特別支援教 育の充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	私立学校支 援	その他	無回答
全 体	1,554	50.8%	41.1%	28.2%	24.3%	23.4%	20.8%	18.1%	18.0%	13.2%	11.9%	11.0%	5.0%	3.0%	2.0%
18～19歳	3	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	49.4%	22.9%	19.3%	26.5%	27.7%	16.9%	31.3%	16.9%	10.8%	16.9%	16.9%	9.6%	2.4%	0.0%
30～39歳	140	55.0%	36.4%	25.7%	25.0%	31.4%	17.9%	16.4%	15.7%	17.1%	13.6%	15.0%	3.6%	4.3%	0.0%
40～49歳	297	47.1%	38.7%	34.7%	19.9%	22.2%	13.8%	15.8%	18.9%	13.8%	12.8%	15.5%	11.1%	3.4%	2.7%
50～59歳	330	48.5%	42.1%	32.7%	23.0%	20.0%	20.3%	19.7%	17.3%	14.5%	12.7%	13.3%	3.3%	3.0%	1.2%
60～69歳	412	54.6%	44.7%	27.2%	25.5%	23.3%	22.3%	16.7%	11.9%	10.2%	8.0%	2.2%	2.7%	2.2%	
70～79歳	238	50.8%	45.0%	21.0%	27.3%	24.8%	29.8%	18.5%	21.4%	12.2%	10.5%	4.2%	3.4%	2.1%	2.9%
80歳以上	27	40.7%	48.1%	25.9%	33.3%	11.1%	40.7%	18.5%	22.2%	0.0%	11.1%	7.4%	3.7%	0.0%	3.7%

年齢別でみると、〈80歳以上〉を除く年齢で「いじめ防止対策」が最も高くなっている。一方、〈80歳以上〉では「教師の指導力向上」が最も高い結果となった。

## 【同居家族別】

同居家族	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教師の指導 力向上	少人数学級 の実現	家庭学習の 充実	体力・運動 能力の向上	佐賀を誇り に思う教育	現場の働き 方改革	安全安心な 学校給食	特別支援教 育の充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	私立学校支 援	その他	無回答
全 体	1,554	50.8%	41.1%	28.2%	24.3%	23.4%	20.8%	18.1%	18.0%	13.2%	11.9%	11.0%	5.0%	3.0%	2.0%
該当なし	294	53.4%	44.2%	23.1%	25.9%	19.0%	21.1%	19.4%	16.3%	13.3%	12.9%	9.9%	2.7%	3.7%	2.7%
0～2歳	87	54.0%	33.3%	21.8%	28.7%	40.2%	20.7%	18.4%	17.2%	14.9%	13.8%	16.1%	2.3%	3.4%	0.0%
3歳～小学校入学前	127	55.1%	37.8%	29.9%	22.8%	33.1%	22.0%	13.4%	18.9%	8.7%	18.1%	19.7%	2.4%	3.9%	0.0%
小学生	223	42.2%	46.6%	39.5%	22.9%	30.0%	15.7%	11.2%	17.0%	14.8%	13.0%	14.8%	8.5%	3.1%	0.4%
中学生	139	40.3%	48.2%	43.9%	23.0%	25.2%	12.2%	15.1%	16.5%	14.4%	12.2%	14.4%	14.4%	2.9%	0.7%
高校生・高等専修学校生	140	35.7%	44.3%	37.1%	20.7%	25.7%	17.1%	17.1%	17.1%	10.0%	17.1%	18.6%	12.1%	3.6%	0.7%
短大生・大学生・専門学校生	91	40.7%	39.6%	31.9%	26.4%	29.7%	19.8%	20.9%	14.3%	11.0%	14.3%	11.0%	9.9%	2.2%	1.1%
未婚の社会人	380	56.1%	40.0%	30.3%	22.6%	22.1%	19.7%	18.2%	19.5%	12.9%	10.3%	11.6%	5.3%	2.1%	1.6%
65歳以上の方	674	53.1%	40.7%	26.9%	24.8%	23.0%	23.4%	17.2%	19.1%	13.2%	11.3%	11.1%	4.6%	2.4%	1.5%

同居家族別でみると、小学生から高校生がいる家庭では「教師の指導力向上」が最も高くなっている。一方、それ以外では「いじめ防止対策」が高い傾向が見られる。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	いじめ防止 対策	教師の指導 力向上	少人数学級 の実現	家庭学習の 充実	体力・運動 能力の向上	佐賀を誇り に思う教育	現場の働き 方改革	安全安心な 学校給食	特別支援教 育の充実	異文化交流 の促進	ICT利活用 教育	私立学校支 援	その他	無回答
全 体	1,554	50.8%	41.1%	28.2%	24.3%	23.4%	20.8%	18.1%	18.0%	13.2%	11.9%	11.0%	5.0%	3.0%	2.0%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	55.7%	38.5%	28.3%	27.3%	22.6%	19.3%	16.5%	18.7%	14.4%	9.0%	9.7%	6.7%	2.3%	1.9%
2年未満	84	56.0%	44.0%	35.7%	23.8%	31.0%	21.4%	10.7%	20.2%	10.7%	7.1%	13.1%	3.6%	2.4%	1.2%
2～5年未満	229	45.4%	42.8%	31.0%	21.0%	21.4%	20.5%	21.8%	15.7%	15.3%	12.7%	12.2%	4.4%	3.5%	2.6%
5～10年未満	149	48.3%	43.0%	22.8%	23.5%	22.8%	27.5%	24.8%	12.8%	12.1%	16.1%	14.8%	0.0%	3.4%	0.7%
10年以上	384	45.6%	42.7%	27.6%	22.1%	24.2%	21.1%	17.7%	18.8%	11.2%	16.1%	10.7%	4.7%	3.6%	2.1%

居住歴別でみると、すべての居住年数で「いじめ防止対策」が最も高く、次いで「教師の指導力向上」となっている。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 教員の人員確保。(女性 / 20～29歳 / 東・西松浦地区)
- ・ 子ども一人一人が、自由で尊重し、人と違ってあたりまえという教育。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 通学路の安全化(ガードレールの設備・横断歩道、信号の設置など)。(女性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 国内他県の学校との交流。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 安全な教員の採用・再雇用の厳選。(男性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 教職員の意識改革。(答えたくない / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 近距離圏内の県外大学への通学交通費補助。大学から都市圏に住むと、そのままそこで就職するケースが多い。佐賀に住んでいけば佐賀県内の就職先も候補にいれてくれるのでは？と思う。子どもが就職する頃にはリモートワークも進んでいるかもしれないので、佐賀にいながら高度な仕事をしてほしい。(男性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 教師の負担軽減。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 教師の質。(女性 / 40～49歳 / 三養基・神埼地区)

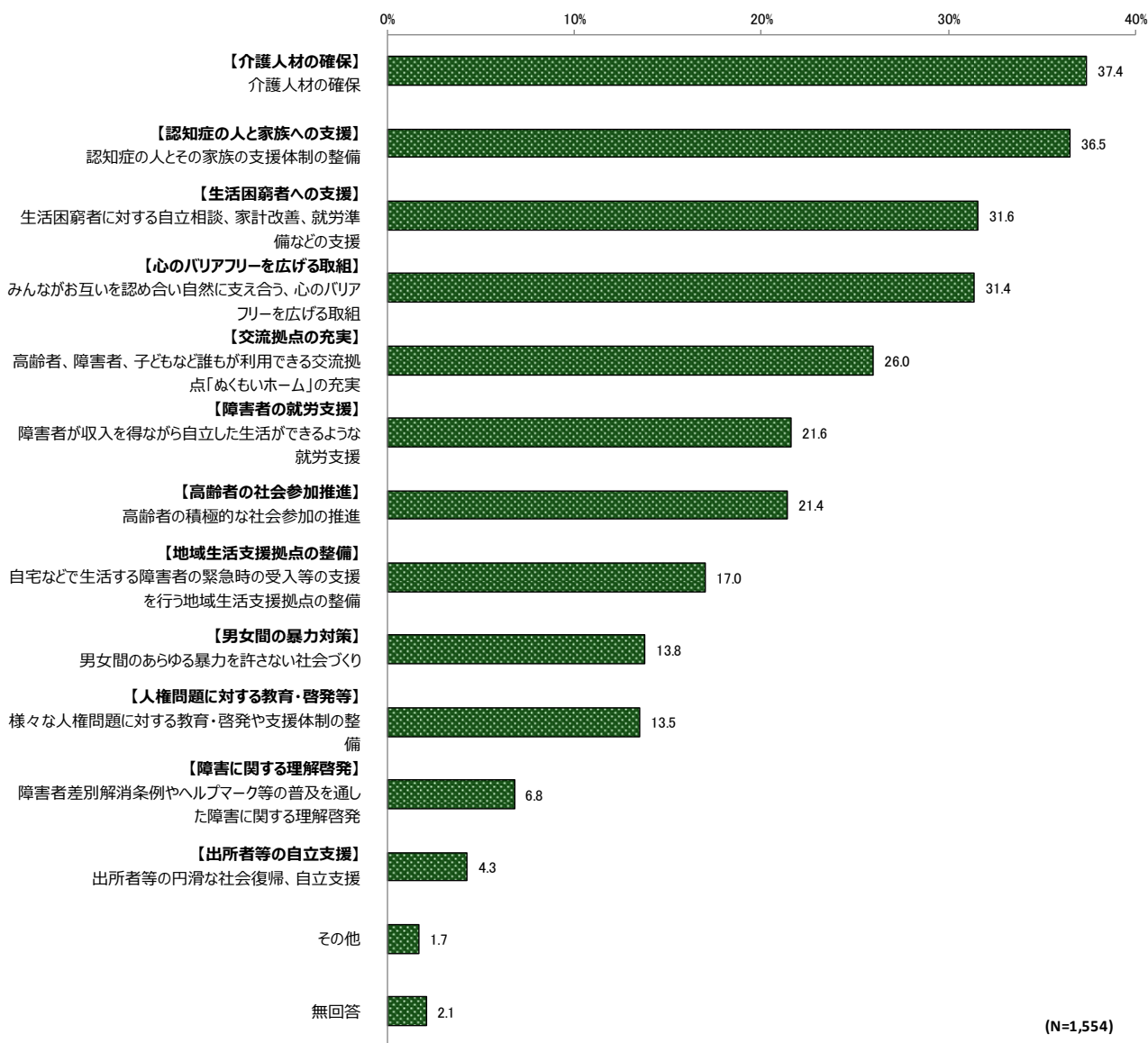
- 県の取り組みというより、まずは親のしつけ方を見直した方が良い。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 部活動偏重の風習を変える。部活動をやりたいなら保護者の直接的サポートが不要な範囲でやるべき。関東近県ではそれが常識であり、その分保護者には自律した勉強を促すべき。子どもの試合の付き添いは佐賀県の豊かさを向上させない。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 生きていくための常識、知恵、マナー。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 全て必要です。また、公立学校の採用試験の倍率もそうですが、佐賀県全体の学力と体力がとても下がっていると感じます。子育て県として進めて行くのであれば、少なくとも義務教育段階の子どもたちの将来を見据えた改革をお願いします。公立学校の先生はとても感じが悪いです。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 個々の能力による選択の自由と習得。(男性 / 40~49 歳 / 杵島・藤津地区)
- 資産運用教育。(男性 / 40~49 歳 / 東・西松浦地区)
- 中学校までは支援クラスがあるが、高校になると支援クラスなどないため発達障害の子ども達の症状などを理解されている先生方が少ない。(男性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 教師の適性、質の向上。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 学ぶとは知らないことを知ること。それはワクワクと楽しいはず。ワクワクする学びの場が必要。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 優秀な大学の誘致(大学のない唐津に是非)。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- I C Tを導入すれば、子どもの学力が向上するという大きな間違いに気づいてほしい。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 教育公務員の待遇改善。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 学校のオープン化(今は校内の事が見えない)。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 中学校部活動の推進。(男性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 奨学金制度。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 心の教育。(男性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 昔ながらの教育。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 道徳教育。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 早期の志教育。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 教師不足をなくす。(男性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 佐賀の歴史学習の強化。(男性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 教師の方の人としてのあり方の教育(生徒に対しての思いやりなど)。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- もうすこし子ども達がのびのびと学校生活をおくれるようにして欲しい。あまりにも子ども達は規則にしばられていると思う。(女性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)
- 教師の指導力と強制力を上げる。(無回答)
- 発達障害の早期発見のための指導と就学指導の親へのサポート。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)

## 【自由意見】

- 県政に望むことは、県独自で、子どもの教育費を無料化、介護保険の負担率をさらに低くする様に予算を組んでみてはどうですか。また、マナーが悪い人が多い。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 障害者教育において、施設設備や教員数の確保などもっと増やしてほしい。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 学校での唐津焼についての教育や、地元の歴史なども教えて欲しい。(女性 / 40~49 歳 / 東・西松浦地区)
- 子どもが県立の中学に通っているが、意味のない校則や先生方の質の低さに驚かされる。今一度教員採用の際に、また既に教師として働いている先生方の教育をしっかりとやって欲しい(挨拶も自分からしない、子どもをおまえ!と呼ぶ等)。中学生の英語能力が全国で最下位とのこと。子ども達の教育に力を入れて欲しい。県立の教育レベルも低過ぎる。子ども達の勉強意欲をそそるような授業を展開して頂きたい。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 教育に是非とも力をいれて頂きたいです。教職員の働き方改革を推進して頂きたいです。教師が多忙では、良い教育はできないと思います。宜しくお願い致します。(男性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 小・中・高生のマナーも決して良いワケでもなく、その親も同様、ある意味家庭の収入に比例している場面もある。家庭の収入を高くするため最低賃金をあげて下さい！(男性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 若年層の県外流出防止のため、県内に大学・専門学校等高等教育の場や企業誘致を推進してほしい。(男性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)

### 1 3. すべての人が暮らしやすい社会のために県に取り組んでほしいこと

問 13 すべての人が暮らしやすい社会のために県に取り組んでほしいと思うものを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「介護人材の確保」が 37.4%と最も高く、次いで「認知症の人と家族への支援」が 36.5%、「生活困窮者への支援」が 31.6%となっている。

## 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	介護人材の 確保	認知症の人 と家族への 支援	生活困窮者 への支援	心のバリア フリーを広 げる取組	交流拠点の 充実	障害者の就 労支援	高齢者の社 会参加推進	地域生活支 援拠点の整 備	男女間の暴 力対策	人権問題に 対する教 育・啓発等	障害に關す る理解啓発	出所者等の 自立支援	その他	無回答
全 体	1,554	37.4%	36.5%	31.6%	31.4%	26.0%	21.6%	21.4%	17.0%	13.8%	13.5%	6.8%	4.3%	1.7%	2.1%
佐賀・小城地区	560	40.0%	35.9%	32.0%	29.3%	24.3%	20.5%	23.2%	17.7%	14.1%	13.8%	5.9%	4.8%	2.0%	1.4%
東・西松浦地区	348	34.2%	35.1%	32.5%	36.2%	28.7%	22.1%	21.3%	17.2%	12.4%	12.9%	9.5%	3.7%	1.7%	2.0%
三養基・神埼地区	344	38.4%	41.6%	29.9%	31.1%	23.5%	20.1%	21.8%	14.0%	13.1%	14.8%	6.4%	3.5%	1.7%	1.7%
杵島・藤津地区	278	34.9%	33.5%	32.4%	30.2%	28.8%	24.1%	17.3%	18.3%	15.5%	12.9%	6.1%	4.7%	1.1%	3.2%

エリア別でみると、<佐賀・小城地区> <杵島・藤津地区>では「介護人材の確保」が最も高く、<東・西松浦地区>では「心のバリアフリーを広げる取組」、<三養基・神埼地区>では「認知症の人と家族への支援」がそれぞれ最も高くなっている。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	介護人材の 確保	認知症の人 と家族への 支援	生活困窮者 への支援	心のバリア フリーを広 げる取組	交流拠点の 充実	障害者の就 労支援	高齢者の社 会参加推進	地域生活支 援拠点の整 備	男女間の暴 力対策	人権問題に 対する教 育・啓発等	障害に關す る理解啓発	出所者等の 自立支援	その他	無回答
全 体	1,554	37.4%	36.5%	31.6%	31.4%	26.0%	21.6%	21.4%	17.0%	13.8%	13.5%	6.8%	4.3%	1.7%	2.1%
男性	686	38.2%	37.3%	36.0%	27.4%	23.3%	21.7%	24.9%	16.0%	13.7%	12.7%	5.5%	5.8%	1.0%	2.9%
女性	814	36.7%	36.0%	27.9%	35.4%	28.5%	21.1%	18.9%	17.4%	13.6%	14.5%	7.6%	3.1%	2.2%	1.1%
答えたくない	26	30.8%	38.5%	38.5%	23.1%	11.5%	15.4%	7.7%	19.2%	15.4%	19.2%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%

性別でみると、<男性>、<女性>ともに「介護人材の確保」が最も高くなっている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	介護人材の 確保	認知症の人 と家族への 支援	生活困窮者 への支援	心のバリア フリーを広 げる取組	交流拠点の 充実	障害者の就 労支援	高齢者の社 会参加推進	地域生活支 援拠点の整 備	男女間の暴 力対策	人権問題に 対する教 育・啓発等	障害に關す る理解啓発	出所者等の 自立支援	その他	無回答
全 体	1,554	37.4%	36.5%	31.6%	31.4%	26.0%	21.6%	21.4%	17.0%	13.8%	13.5%	6.8%	4.3%	1.7%	2.1%
18～19歳	3	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	28.9%	26.5%	30.1%	42.2%	21.7%	22.9%	9.6%	15.7%	27.7%	18.1%	3.6%	10.8%	2.4%	0.0%
30～39歳	140	35.0%	39.3%	29.3%	37.1%	22.9%	26.4%	12.1%	12.9%	20.7%	19.3%	7.1%	2.9%	1.4%	2.1%
40～49歳	297	35.4%	40.1%	27.9%	34.3%	20.2%	25.3%	18.5%	13.5%	12.5%	15.8%	8.1%	4.7%	2.7%	0.3%
50～59歳	330	39.1%	41.5%	34.8%	29.1%	22.7%	19.4%	22.1%	17.6%	12.4%	12.1%	3.9%	3.0%	2.7%	3.0%
60～69歳	412	36.9%	35.4%	35.2%	29.1%	27.4%	17.2%	25.2%	21.4%	12.6%	12.4%	8.7%	4.1%	0.2%	1.7%
70～79歳	238	41.6%	31.5%	29.0%	26.5%	36.1%	24.8%	25.6%	15.5%	10.9%	11.3%	7.6%	4.6%	1.7%	2.9%
80歳以上	27	40.7%	22.2%	14.8%	44.4%	48.1%	7.4%	33.3%	11.1%	7.4%	7.4%	3.7%	0.0%	0.0%	7.4%

年齢別でみると、30歳以上59歳以下では「認知症の人と家族への支援」が最も高くなっている。また、60歳以上79歳以下では「介護人材の確保」が高い傾向が見られる。

## 【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	介護人材の 確保	認知症の人 と家族への 支援	生活困窮者 への支援	心のバリア フリーを広 げる取組	交流拠点の 充実	障害者の就 労支援	高齢者の社 会参加推進	地域生活支 援拠点の整 備	男女間の暴 力対策	人権問題に 対する教 育・啓発等	障害に關す る理解啓発	出所者等の 自立支援	その他	無回答
全 体	1,554	37.4%	36.5%	31.6%	31.4%	26.0%	21.6%	21.4%	17.0%	13.8%	13.5%	6.8%	4.3%	1.7%	2.1%
1人世帯	121	28.9%	33.9%	40.5%	29.8%	28.1%	24.8%	22.3%	15.7%	10.7%	14.9%	8.3%	6.6%	1.7%	0.8%
夫婦だけ	357	41.7%	32.8%	28.9%	28.0%	32.2%	17.6%	26.1%	15.4%	13.2%	11.2%	7.3%	4.8%	1.4%	2.8%
2世代	718	37.2%	37.7%	32.7%	32.6%	23.4%	22.8%	20.9%	18.0%	13.8%	13.2%	6.4%	3.2%	2.1%	1.4%
3世代	296	36.1%	40.2%	29.4%	33.8%	25.0%	21.6%	17.6%	16.9%	13.5%	16.6%	7.1%	4.7%	1.0%	2.0%
その他	35	40.0%	31.4%	28.6%	31.4%	17.1%	20.0%	14.3%	17.1%	25.7%	22.9%	5.7%	8.6%	2.9%	2.9%

家族構成別にみると、<1人世帯>では「生活困窮者への支援」が最も高くなっている。その他の家族構成では、「介護人材の確保」、「認知症の人と家族への支援」が高い傾向となっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	介護人材の 確保	認知症の人 と家族への 支援	生活困窮者 への支援	心のバリア フリーを広 げる取組	交流拠点の 充実	障害者の就 労支援	高齢者の社 会参加推進	地域生活支 援拠点の整 備	男女間の暴 力対策	人権問題に 対する教 育・啓発等	障害に關す る理解啓発	出所者等の 自立支援	その他	無回答
全 体	1,554	37.4%	36.5%	31.6%	31.4%	26.0%	21.6%	21.4%	17.0%	13.8%	13.5%	6.8%	4.3%	1.7%	2.1%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	36.4%	37.0%	30.9%	33.2%	27.9%	22.8%	19.4%	16.0%	15.8%	12.6%	6.8%	3.3%	1.6%	1.9%
2年未満	84	32.1%	45.2%	33.3%	35.7%	29.8%	17.9%	21.4%	25.0%	13.1%	15.5%	3.6%	4.8%	0.0%	1.2%
2～5年未満	229	40.6%	33.6%	35.4%	29.3%	21.0%	24.0%	19.2%	20.5%	12.2%	15.3%	10.9%	5.7%	0.9%	1.3%
5～10年未満	149	40.3%	35.6%	34.9%	28.9%	27.5%	16.1%	28.2%	22.1%	10.7%	9.4%	4.0%	5.4%	1.3%	0.7%
10年以上	384	38.0%	36.2%	28.9%	29.7%	23.7%	21.1%	23.2%	13.8%	12.5%	15.4%	6.5%	4.4%	2.9%	3.1%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「介護人材の確保」、「認知症の人と家族への支援」が高い傾向となっている。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ヘルプマークの悪用をなくすようにしたい。(女性 / 20～29歳 / 杵島・藤津地区)
- ジェンダーレス社会への取組み。(女性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)



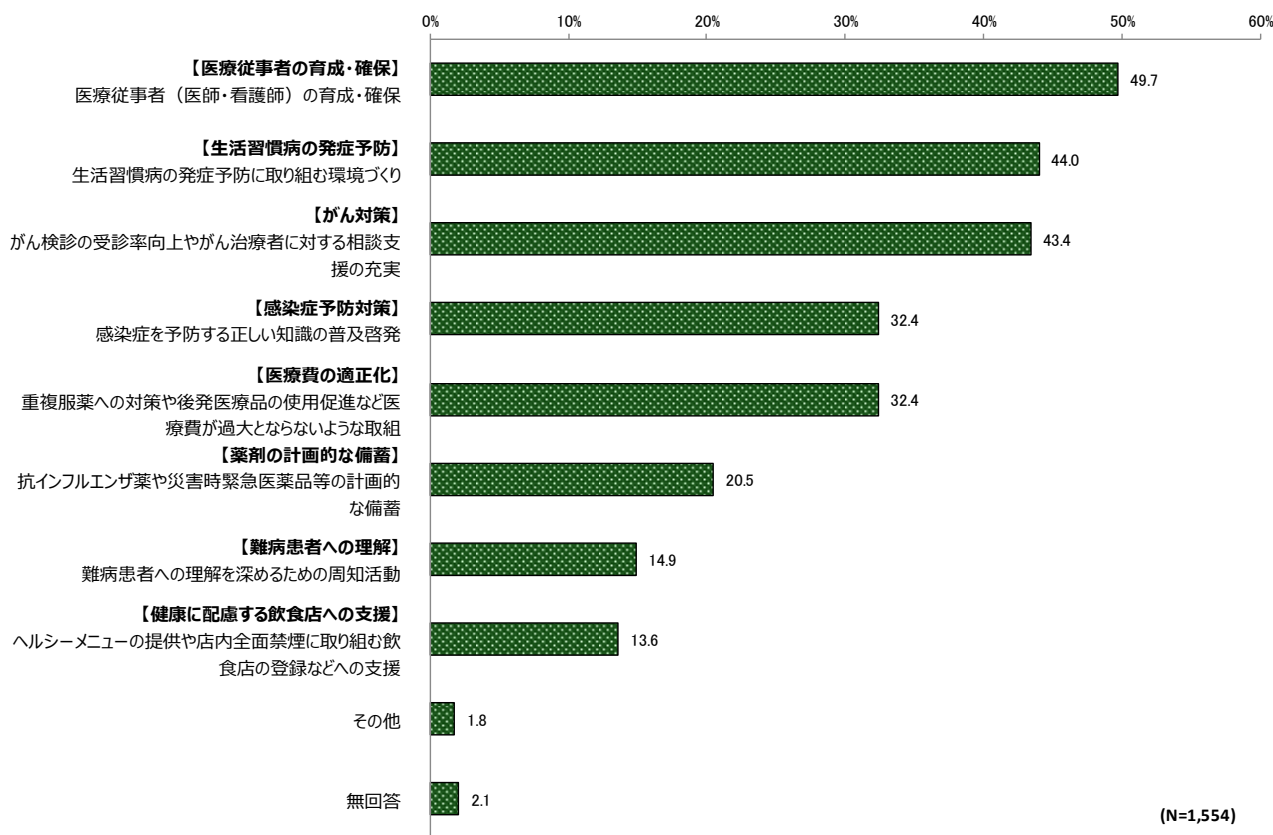
- 全ての取組みを実行するのは無理なので、絞るべき。(男性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- オストメイトトイレがどこにでもある。(答えたくない / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 生活保護受給者にスマホを持っていたりギャンブルをしたりしている人がいる。(本当に働けない方に必要最低限で渡してほしい)  
(女性 / 40~49 歳 / 東・西松浦地区)
- 減税。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 安易に補助金を渡さず、現実を見た職探しの相談窓口。(女性 / 40~49 歳 / 東・西松浦地区)
- 安定した収入。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 働く世代の負担減少。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 子供が事故や犯罪に巻き込まれないような、優しい県民性を育むこと。大人にも道德の授業は必要です。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- そもそも「すべての人」に無理がある。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 私は 1 人で結婚もしてません。そういう偏見や差別をなくしてほしいです。(女性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 暮らしやすい環境の整備。(男性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 自宅などで生活する介護等を必要とする人の緊急時等 (リフレッシュ含む) の受入等の整備。(女性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 児童虐待防止。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 過疎地域、超高齢化地域において、若者が移住生活をしやすいような支援と若者にとって魅力ある街づくり支援。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 質問の内容からはどの選択肢も適当でない。弱者救済の選択肢しかありません。県民の経済的安定と環境づくりが欠かせません。  
(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 禁煙区域の拡大、違反者の罰則化。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- LGBTQ の方も生活しやすいような取り組み。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 高齢者が安心して年をとれる社会 (佐賀県民は安心して年をとれるというシステム)。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 困っている時にまず何でも相談できる所。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- ひきこもり、ニートに対する支援が足りないと思う。(女性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)

## 【自由意見】

- 福祉施設で働く方々への待遇の強化。(男性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 介護の人材を増やす計画、支援事業。(男性 / 30~39 歳 / 杵島・藤津地区)
- 子育てばかりに注力している。全世代 (特に高齢者) の福祉も充実してほしい。せっかく税金を納めても恩恵を受けていない世代が多い。平等にしてほしい。(女性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 福祉に力を入れてください。(女性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 片親家族のコロナ関連支援ばかりではなく、ふつうの家庭にも同じような支援をしてください。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 障害を持った方の親なき後の支援の充実をもっと考えてください。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- まだまだ障害者に対しての意識が低いと思う。障害のある人 1 人 1 人がもっと自分の意見を言える所があったらいいと思う。(女性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)
- 医療現場で勤務しておりますが、介護職員が不足している。大変さばかりではなく良い部分を伝えないとダメではないのか? と思います。またヤングケアラーを増やさないように考えるべきだと感じます。(女性 / 40~49 歳 / 杵島・藤津地区)
- 九州で初のパートナーシップ制度を取り入れたことに大変感謝します。今後もさらにジェンダーレスに向けた支援をしてほしい。(女性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)

## 1.4. 健康な生活をおくるために県に取り組んでほしいこと

問 14 健康な生活をおくるために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「医療従事者の育成・確保」が49.7%と最も高く、次いで「生活習慣病の発症予防」が44.0%、「がん対策」が43.4%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	医療従事者の育成・確保	生活習慣病の発症予防	がん対策	感染症予防対策	医療費の適正化	薬剤の計画的な備蓄	難病患者への理解	健康に配慮する飲食店への支援	その他	無回答
全 体	1,554	49.7%	44.0%	43.4%	32.4%	32.4%	20.5%	14.9%	13.6%	1.8%	2.1%
佐賀・小城地区	560	47.9%	44.8%	42.9%	33.2%	31.3%	18.4%	14.8%	17.0%	2.1%	1.8%
東・西松浦地区	348	50.6%	41.4%	45.7%	34.8%	28.2%	20.7%	15.8%	12.1%	1.4%	2.6%
三養基・神埼地区	344	54.4%	41.0%	42.7%	28.5%	36.3%	25.9%	14.2%	12.5%	1.2%	1.5%
杵島・藤津地区	278	47.5%	48.6%	41.4%	33.8%	35.6%	18.0%	15.1%	10.8%	2.5%	2.5%

エリア別でみると、<杵島・藤津地区>を除く地区では「医療従事者の育成・確保」が最も高くなっている。一方、<杵島・藤津地区>では「生活習慣病の発症予防」が最も高い結果となった。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	医療従事者の 育成・確保	生活習慣病 の発症予防	がん対策	感染症予防 対策	医療費の適 正化	薬剤の計画 的な備蓄	難病患者へ の理解	健康に配慮 する飲食店 への支援	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	44.0%	43.4%	32.4%	32.4%	20.5%	14.9%	13.6%	1.8%	2.1%
男性	686	53.2%	47.5%	45.2%	34.0%	28.9%	20.1%	13.7%	10.8%	2.2%	2.8%
女性	814	46.8%	41.6%	41.9%	31.6%	35.1%	20.6%	15.8%	16.3%	1.4%	1.5%
答えたくない	26	46.2%	19.2%	46.2%	23.1%	46.2%	26.9%	19.2%	7.7%	7.7%	0.0%

性別でみると、〈男性〉、〈女性〉、〈答えたくない〉ともに「医療従事者の育成・確保」が最も高く、〈男性〉が〈女性〉を上回っている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	医療従事者の 育成・確保	生活習慣病 の発症予防	がん対策	感染症予防 対策	医療費の適 正化	薬剤の計画 的な備蓄	難病患者へ の理解	健康に配慮 する飲食店 への支援	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	44.0%	43.4%	32.4%	32.4%	20.5%	14.9%	13.6%	1.8%	2.1%
18～19歳	3	0.0%	66.7%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	47.0%	37.3%	41.0%	30.1%	30.1%	25.3%	15.7%	18.1%	3.6%	1.2%
30～39歳	140	52.1%	30.7%	56.4%	32.9%	29.3%	22.9%	17.1%	16.4%	4.3%	0.7%
40～49歳	297	45.8%	39.7%	41.8%	33.3%	29.6%	29.0%	17.2%	15.2%	1.7%	0.7%
50～59歳	330	53.0%	41.8%	46.4%	26.7%	29.1%	18.5%	14.5%	15.5%	2.7%	2.4%
60～69歳	412	52.4%	51.5%	44.4%	31.3%	34.5%	15.8%	13.1%	11.7%	0.2%	2.2%
70～79歳	238	46.6%	49.2%	31.5%	43.3%	41.6%	18.9%	13.0%	10.1%	1.3%	3.4%
80歳以上	27	48.1%	40.7%	48.1%	25.9%	18.5%	11.1%	22.2%	14.8%	3.7%	7.4%

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「医療従事者の育成・確保」、「生活習慣病の発症予防」、「がん対策」が高い傾向が見られる。

## 【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	医療従事者の 育成・確保	生活習慣病 の発症予防	がん対策	感染症予防 対策	医療費の適 正化	薬剤の計画 的な備蓄	難病患者へ の理解	健康に配慮 する飲食店 への支援	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	44.0%	43.4%	32.4%	32.4%	20.5%	14.9%	13.6%	1.8%	2.1%
1人世帯	121	43.0%	46.3%	31.4%	36.4%	37.2%	20.7%	16.5%	16.5%	2.5%	1.7%
夫婦だけ	357	47.3%	47.1%	43.4%	32.2%	36.1%	17.4%	13.7%	11.2%	2.0%	2.8%
2世代	718	52.8%	41.2%	44.4%	32.9%	30.8%	22.8%	15.5%	14.3%	1.8%	1.1%
3世代	296	47.3%	46.3%	46.3%	30.1%	31.4%	17.6%	14.9%	14.5%	1.7%	2.7%
その他	35	62.9%	42.9%	37.1%	40.0%	25.7%	31.4%	14.3%	8.6%	0.0%	2.9%

家族構成別でみると、ほとんどの家族構成で「医療従事者の育成・確保」が最も高くなっている。一方、〈1人世帯〉では「生活習慣病の発症予防」も高い傾向が見られた。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	医療従事者の 育成・確保	生活習慣病 の発症予防	がん対策	感染症予防 対策	医療費の適 正化	薬剤の計画 的な備蓄	難病患者へ の理解	健康に配慮 する飲食店 への支援	その他	無回答
全体	1,554	49.7%	44.0%	43.4%	32.4%	32.4%	20.5%	14.9%	13.6%	1.8%	2.1%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	49.5%	46.6%	44.7%	32.1%	31.8%	16.4%	16.4%	13.6%	0.7%	2.0%
2年未満	84	41.7%	42.9%	44.0%	40.5%	36.9%	35.7%	10.7%	16.7%	2.4%	1.2%
2～5年未満	229	51.1%	38.9%	44.1%	30.1%	37.6%	19.7%	17.9%	9.6%	2.2%	1.7%
5～10年未満	149	47.0%	45.6%	40.9%	28.2%	29.5%	28.2%	12.1%	14.8%	4.0%	0.7%
10年以上	384	52.6%	42.2%	40.4%	34.6%	31.0%	22.4%	13.0%	15.4%	2.6%	2.9%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「医療従事者の育成・確保」が高い傾向が見られた。一方、〈2年未満〉では「がん対策」が最も高くなっている。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- 喫煙所の増加。（男性 / 20～29歳 / 東・西松浦地区）
- 健康で文化的な最低限度の生活を営める労働時間の徹底。（男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区）
- 夜間でもランニング、ウォーキングができるような明るい公園。（男性 / 20～29歳 / 杵島・藤津地区）
- 食の添加物が危険な問題。（男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区）
- 訪問医療の充実。（男性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区）

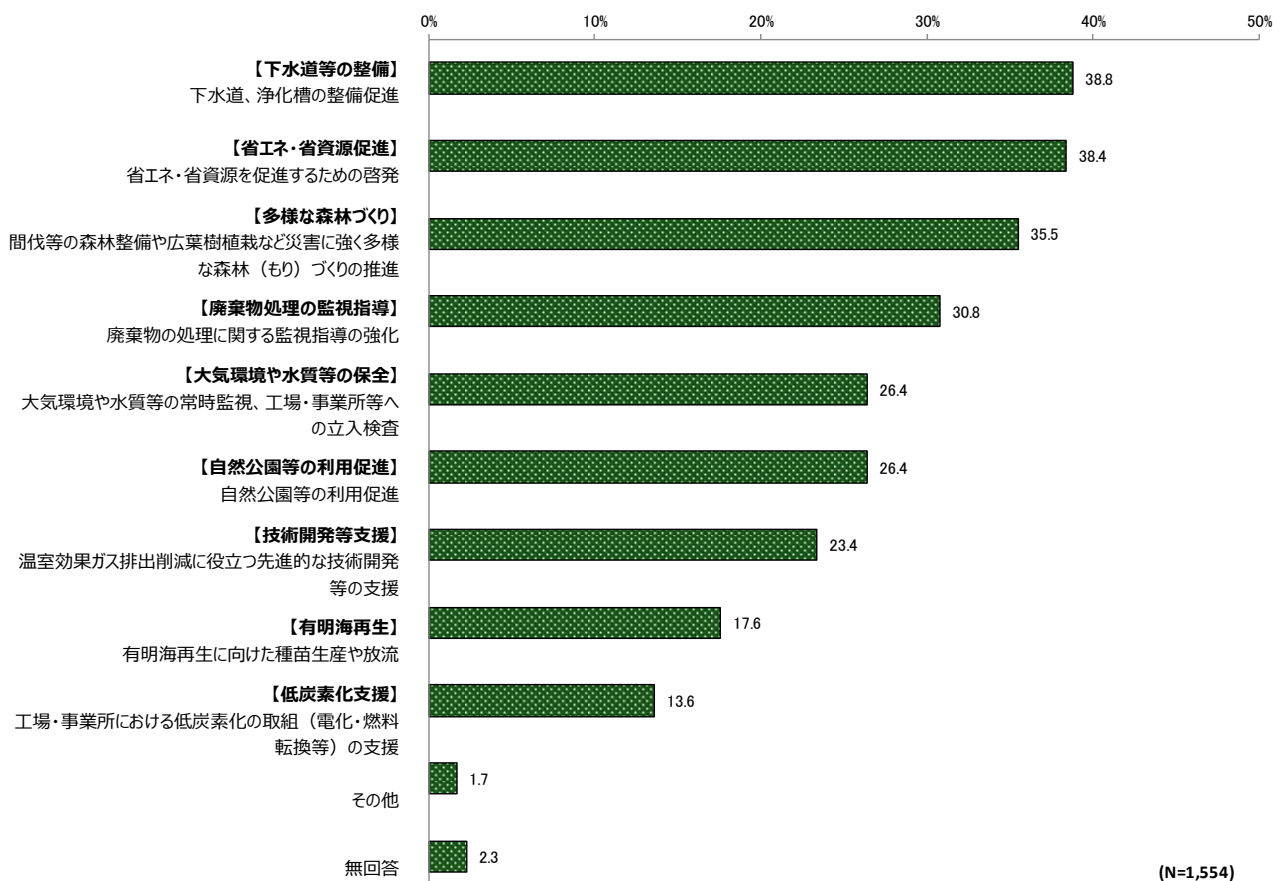
- ウェルエイジング推進活動。(男性 / 30~39 歳 / 三養基・神埼地区)
- 体をつくる“食”についての様々な情報提供。(女性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 「なにかあったらすぐ病院」という意識の払拭。(男性 / 30~39 歳 / 杵島・藤津地区)
- コンビニの店舗数を制限。(男性 / 40~49 歳 / 東・西松浦地区)
- 重複受診を防ぐため、かかりつけ医（家庭医）を持つことを推進。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 病院の混雑の解消。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 歩きたくなるような街づくり。(男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 新しい感染症に対応する医療体制づくりと県民の意識変革への取組。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 西洋医学の薬ばかりでなく、ホメオパシーを使用できる医療が進めば良い。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 保健師等の個別訪問。(男性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 高齢者の方に毎日の食事をお弁当などで支援する町の活動を立ち上げては？佐賀県は女性たちの取り組みが長くなされてきています。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 生活困窮者への食料などの支援。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 真に必要な医療の提供。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 健診の完全無料化と健康保険料の減少への取組み(佐賀県は高い)。(答えたくない / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 禁煙区域の拡大、違反者の罰則化。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 健康で働く為に企業への指導、監督（休日、残業、過労）や管理強化、罰則など。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 開業医の時間外診療の指導。(男性 / 80 歳以上 / 東・西松浦地区)
- 高齢者対象の文化・運動教室の充実。(男性 / 70~79 歳 / 三養基・神埼地区)

#### 【自由意見】

- 革新的な行政を積極的に続けてほしい。福祉、医療に継続的に力を入れてほしい。(女性 / 30~39 歳 / 東・西松浦地区)
- 医療・福祉、教育の人材充実。心身のバリアフリー化。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- コロナに携わっている医療関係者に、全体に行き渡るように慰労金を出して欲しい。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)

## 15. 環境を守っていくために県に取り組んでほしいこと

問 15 環境（地球、自然、生活など）を守っていくために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。  
（〇は3つまで）



全体では、「下水道等の整備」と「省エネ・省資源促進」がともに4割弱であり、次いで「多様な森林づくり」が35.5%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	下水道等の整備	省エネ・省資源促進	多様な森林づくり	廃棄物処理の監視指導	大気環境や水質等の保全	自然公園等の利用促進	技術開発等支援	有明海再生	低炭素化支援	その他	無回答
全体	1,554	38.8%	38.4%	35.5%	30.8%	26.4%	26.4%	23.4%	17.6%	13.6%	1.7%	2.3%
佐賀・小城地区	560	37.5%	36.3%	33.9%	28.2%	25.2%	28.4%	24.5%	23.2%	14.1%	1.8%	1.8%
東・西松浦地区	348	38.5%	40.8%	36.2%	31.3%	26.7%	27.0%	25.0%	8.0%	15.5%	0.9%	2.6%
三養基・神埼地区	344	38.7%	40.1%	33.1%	31.7%	30.5%	27.3%	23.8%	14.2%	14.8%	1.5%	2.0%
杵島・藤津地区	278	41.0%	37.8%	42.1%	32.7%	23.7%	21.2%	19.8%	23.0%	8.3%	2.9%	2.9%

エリア別でみると、＜東・西松浦地区＞ ＜三養基・神埼地区＞ では「省エネ・省資源促進」、＜杵島・藤津地区＞ では「下水道等の整備」、「多様な森林づくり」が高く、4割を超えている。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	下水道等の 整備	省エネ・省 資源促進	多様な森林 づくり	廃棄物処理 の監視指導	大気環境や 水質等の保 全	自然公園等 の利用促進	技術開発等 の支援	有明海再生	低炭素化支 援	その他	無回答
全 体	1,554	38.8%	38.4%	35.5%	30.8%	26.4%	26.4%	23.4%	17.6%	13.6%	1.7%	2.3%
男性	686	39.7%	38.5%	36.7%	32.5%	25.7%	23.9%	24.9%	19.8%	15.9%	1.9%	2.5%
女性	814	37.8%	38.7%	35.4%	29.2%	27.0%	29.0%	22.6%	15.5%	11.7%	1.5%	2.0%
答えたくない	26	34.6%	34.6%	23.1%	19.2%	26.9%	26.9%	23.1%	26.9%	15.4%	3.8%	0.0%

性別で見ると、＜男性＞では「下水道等の整備」が最も高く、＜女性＞では「省エネ・省資源促進」が最も高くなっている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	下水道等の 整備	省エネ・省 資源促進	多様な森林 づくり	廃棄物処理 の監視指導	大気環境や 水質等の保 全	自然公園等 の利用促進	技術開発等 の支援	有明海再生	低炭素化支 援	その他	無回答
全 体	1,554	38.8%	38.4%	35.5%	30.8%	26.4%	26.4%	23.4%	17.6%	13.6%	1.7%	2.3%
18～19歳	3	66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	31.3%	37.3%	32.5%	27.7%	16.9%	33.7%	19.3%	18.1%	18.1%	1.2%	1.2%
30～39歳	140	40.7%	32.9%	30.7%	22.9%	25.7%	39.3%	23.6%	22.1%	17.9%	4.3%	0.7%
40～49歳	297	42.1%	36.7%	32.7%	28.6%	25.9%	30.3%	23.6%	14.5%	17.5%	0.7%	2.0%
50～59歳	330	40.6%	38.2%	32.7%	27.0%	26.7%	22.4%	23.9%	20.6%	15.5%	2.7%	1.8%
60～69歳	412	37.4%	36.9%	38.6%	35.7%	28.6%	25.7%	23.5%	16.0%	11.4%	0.7%	2.2%
70～79歳	238	33.2%	46.6%	43.3%	36.1%	27.7%	21.0%	23.5%	18.5%	6.7%	2.1%	3.8%
80歳以上	27	48.1%	44.4%	37.0%	18.5%	22.2%	11.1%	25.9%	11.1%	7.4%	0.0%	7.4%

年齢別で見ると、ほとんどの年齢で「下水道等の整備」、「省エネ・省資源促進」が高い傾向が見られた。一方、＜60～69歳＞では「多様な森林づくり」も高くなっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	下水道等の 整備	省エネ・省 資源促進	多様な森林 づくり	廃棄物処理 の監視指導	大気環境や 水質等の保 全	自然公園等 の利用促進	技術開発等 の支援	有明海再生	低炭素化支 援	その他	無回答
全 体	1,554	38.8%	38.4%	35.5%	30.8%	26.4%	26.4%	23.4%	17.6%	13.6%	1.7%	2.3%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	38.8%	42.2%	30.6%	32.8%	29.0%	26.3%	22.8%	15.5%	11.9%	0.9%	3.3%
2年未満	84	32.1%	39.3%	42.9%	28.6%	22.6%	25.0%	29.8%	22.6%	20.2%	3.6%	1.2%
2～5年未満	229	39.7%	32.8%	37.6%	34.5%	20.1%	27.5%	24.9%	18.3%	15.3%	0.9%	0.9%
5～10年未満	149	36.2%	36.9%	38.3%	30.9%	22.1%	28.9%	25.5%	20.1%	12.1%	3.4%	0.0%
10年以上	384	41.4%	35.2%	40.1%	25.8%	28.6%	26.0%	21.6%	18.8%	15.1%	2.9%	2.1%

居住歴別で見ると、居住年数が長い方は「省エネ・省資源促進」や「下水道等の整備」を重視している傾向が見られた。一方、＜2年未満＞と居住年数が短い方は「多様な森林づくり」を重視している傾向が見られた。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 諫早湾堤防の開門調査。（男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区）
- ・ 海苔の酸処理問題。（男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区）
- ・ 太陽光パネルの設置に反対する。（男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区）
- ・ 県外からの釣り人の規制。（女性 / 30～39歳 / 東・西松浦地区）
- ・ 有明海や玄界灘、脊振山脈等の佐賀ならではの地形の保全活動。（男性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区）
- ・ 資源の利用とパフォーマンスとのバランスを選択しようとする意識の醸成。（男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区）
- ・ 太陽光パネルを多くみるようになりましたが、パネルを設置していくのではなく、佐賀大学で行われている研究を佐賀県で積極的に取り入れてみてはどうか？例えば、海洋エネルギーによる発電やバイオマス発電等、自然の多い佐賀では可能だと思います。太陽光パネルは人工的で景観も損ねると思っています。（男性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区）
- ・ 太陽光パネル設置規制（←将来はゴミの山と自然破壊のみ産出）、漁業関係者による大規模な水質汚染とゴミの廃棄の取り締まり。（男性 / 40～49歳 / 杵島・藤津地区）
- ・ 野焼きの禁止。（女性 / 50～59歳 / 杵島・藤津地区）
- ・ 太陽光のパネルばかり目立ちますが、使用されなくなった後の廃棄はちゃんと出来てるのが気になります。（女性 / 50～59歳 / 佐賀・小城地区）
- ・ マイクロプラスチックの対策。（女性 / 50～59歳 / 杵島・藤津地区）



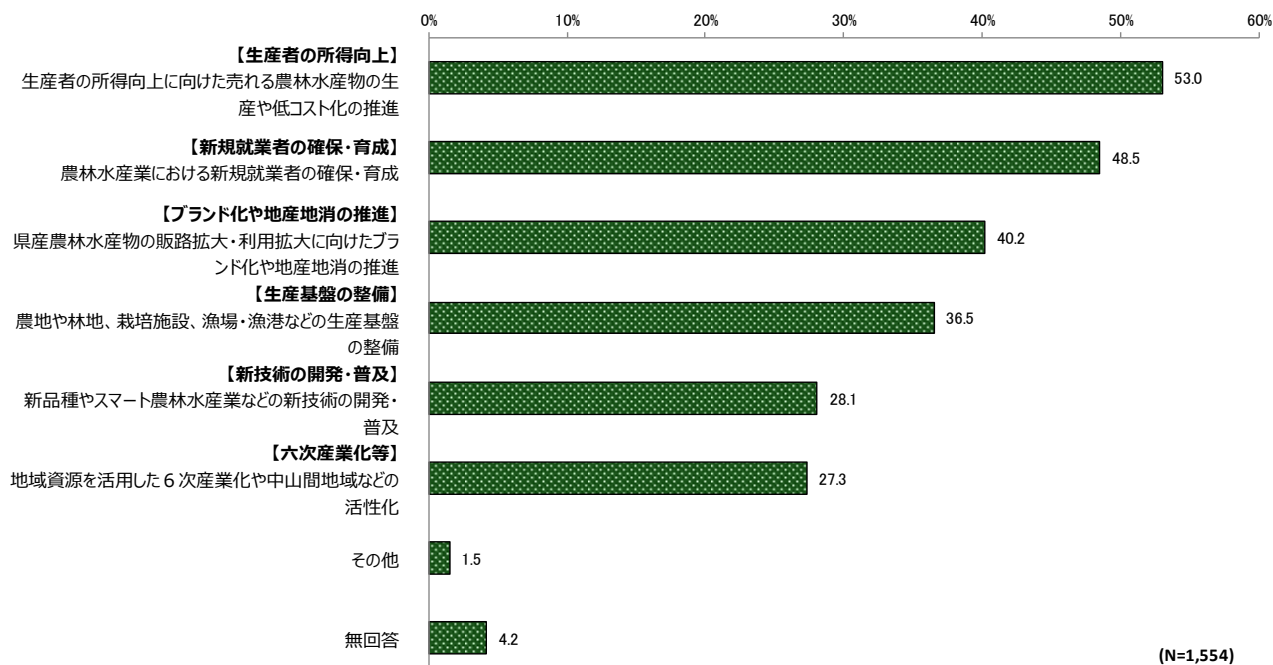
- ごみを減らすこと、プラスチックを使わないこと、これは真剣にしないと、地球環境自体が危ういと思いますが、日本全体がもう遅い、という感じです。（女性 / 50～59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 脱原発。（男性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 県庁周辺（夕方）のカラスをどうにかしてほしい。公園のベンチなどにフンが落ちていてとても汚いし、カラスの大群はいい気持ちはしない。（女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 有毒化学物質等に対する「正しい」教育、認知を促し、外国では禁止されている高濃度な農薬が、何故日本では解禁されているか等を正しく伝えて欲しい。（男性 / 50～59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 家庭ゴミの減少に繋がる活動。（女性 / 60～69 歳 / 三養基・神埼地区）
- ごみ（ビニールとか）をよく近所で燃やされています。（女性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 海苔生産日本一は喜ばしいが、広大かつ密集した養殖による海の汚染調査。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 産業廃棄物の不法投棄の指導、監視。（無回答）

### 【自由意見】

- 豪雨災害や豊かな有明海の為にも、山林の整備に力を入れて欲しい。最新技術を取り入れて、担い手が負担になりにくい仕組みを、柔軟に取り入れて欲しい。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 環境問題に力を入れてほしい。海、川の水質土壌汚染が心配です。実態調査や工場・事業所への立入検査をお願いします。企業の地球や人へ優しい製品への切り替えを推進支援。企業がもっと積極的に商品開発をして欲しいです。子どもから大人まで、常に環境問題を意識して生活するような教育推進もして頂きたいです。（女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 旧 3 4 号線の街路樹について落葉樹ではなく常緑樹に出来ないか。道路清掃が大変だろうと思う。県職員が総出で行ってはどうか。大変さを実感し行政に生かしてほしい。（男性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 治山治水の風水害防止対策をして欲しい。風水害が毎年発生している。（男性 / 60～69 歳 / 三養基・神埼地区）
- 有害鳥獣、特に「猪」を対策してほしい。（男性 / 60～69 歳 / 東・西松浦地区）

## 1 6. 農林水産業・農山漁村の振興のために県に取り組んでほしいこと

問 16 農林水産業・農山漁村の振興のために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。  
(〇は3つまで)



全体では、「生産者の所得向上」が 53.0%と最も高く、次いで「新規就業者の確保・育成」が 48.5%、「ブランド化や地産地消の推進」が 40.2%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	生産者の所得向上	新規就業者の確保・育成	ブランド化や地産地消の推進	生産基盤の整備	新技術の開発・普及	六次産業化等	その他	無回答
全体	1,554	53.0%	48.5%	40.2%	36.5%	28.1%	27.3%	1.5%	4.2%
佐賀・小城地区	560	51.4%	49.8%	43.2%	33.6%	29.3%	27.5%	1.6%	3.0%
東・西松浦地区	348	53.4%	47.1%	35.6%	43.4%	24.7%	30.7%	1.1%	5.7%
三養基・神埼地区	344	52.3%	48.5%	40.7%	31.4%	33.7%	23.8%	1.7%	2.9%
杵島・藤津地区	278	55.0%	49.3%	39.2%	40.6%	22.7%	26.6%	1.4%	6.1%

エリア別で見ると、すべての地区で「生産者の所得向上」が 5 割を超え、高くなっている。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	生産者の所得向上	新規就業者の確保・育成	ブランド化や地産地消の推進	生産基盤の整備	新技術の開発・普及	六次産業化等	その他	無回答
全体	1,554	53.0%	48.5%	40.2%	36.5%	28.1%	27.3%	1.5%	4.2%
男性	686	53.6%	53.4%	40.2%	38.9%	28.6%	28.4%	1.6%	3.9%
女性	814	52.5%	45.3%	40.3%	34.6%	27.3%	26.5%	1.2%	4.3%
答えたくない	26	34.6%	42.3%	42.3%	38.5%	34.6%	11.5%	7.7%	7.7%

性別で見ると、〈男性〉〈女性〉とも「生産者の所得向上」が 5 割を超え、高くなっている。

### 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	生産者の所得向上	新規就業者の確保・育成	ブランド化や地産地消の推進	生産基盤の整備	新技術の開発・普及	六次産業化等	その他	無回答
全体	1,554	53.0%	48.5%	40.2%	36.5%	28.1%	27.3%	1.5%	4.2%
18～19歳	3	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	51.8%	47.0%	38.6%	31.3%	36.1%	14.5%	0.0%	4.8%
30～39歳	140	53.6%	47.1%	40.0%	39.3%	31.4%	15.0%	2.9%	4.3%
40～49歳	297	50.2%	44.8%	49.8%	29.3%	33.3%	25.6%	0.7%	3.4%
50～59歳	330	52.7%	46.4%	41.8%	39.4%	28.2%	26.4%	2.1%	2.7%
60～69歳	412	53.6%	53.2%	33.0%	38.1%	25.0%	31.6%	1.5%	4.4%
70～79歳	238	53.8%	50.4%	39.5%	39.9%	22.7%	34.5%	1.3%	6.3%
80歳以上	27	55.6%	48.1%	40.7%	40.7%	18.5%	25.9%	3.7%	7.4%

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「生産者の所得向上」が5割を超え、高くなっている。また、「新規就業者の確保・育成」も5割前後と、次いで高い傾向が見られた。

### 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	生産者の所得向上	新規就業者の確保・育成	ブランド化や地産地消の推進	生産基盤の整備	新技術の開発・普及	六次産業化等	その他	無回答
全体	1,554	53.0%	48.5%	40.2%	36.5%	28.1%	27.3%	1.5%	4.2%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	54.7%	46.3%	37.2%	36.0%	27.6%	29.3%	0.9%	4.4%
2年未満	84	60.7%	53.6%	40.5%	36.9%	29.8%	25.0%	1.2%	2.4%
2～5年未満	229	50.2%	50.7%	44.1%	39.3%	25.8%	26.2%	2.2%	4.4%
5～10年未満	149	54.4%	45.6%	42.3%	32.9%	30.2%	28.9%	0.7%	3.4%
10年以上	384	51.0%	51.0%	42.7%	36.5%	30.2%	24.0%	2.6%	4.4%

居住歴別でみると、すべての居住年数で「生産者の所得向上」、「新規就業者の確保・育成」が高い傾向が見られた。

### 【職業別】

職業	回答件数 (件)	生産者の所得向上	新規就業者の確保・育成	ブランド化や地産地消の推進	生産基盤の整備	新技術の開発・普及	六次産業化等	その他	無回答
全体	1,554	53.0%	48.5%	40.2%	36.5%	28.1%	27.3%	1.5%	4.2%
農林漁業	111	67.6%	46.8%	38.7%	47.7%	17.1%	32.4%	1.8%	3.6%
商工・サービス業	142	42.3%	55.6%	39.4%	33.1%	26.1%	28.9%	2.8%	4.9%
自由業	64	51.6%	46.9%	37.5%	34.4%	23.4%	21.9%	1.6%	6.3%
会社の正社員	439	54.2%	45.1%	41.9%	39.0%	30.8%	24.8%	1.1%	3.6%
会社の非正規社員	226	53.5%	50.9%	38.9%	34.1%	26.5%	25.7%	0.9%	3.5%
官公庁の正規職員	86	57.0%	54.7%	44.2%	30.2%	37.2%	23.3%	1.2%	3.5%
官公庁の非正規職員	45	51.1%	55.6%	42.2%	31.1%	35.6%	28.9%	0.0%	0.0%
学生	12	41.7%	33.3%	16.7%	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%
専業主婦、主夫	204	54.4%	45.1%	41.7%	38.2%	22.5%	28.9%	1.5%	4.9%
無職	197	49.2%	50.3%	37.1%	33.0%	29.9%	32.0%	2.5%	6.6%

職業別でみると、ほとんどの職業で「生産者の所得向上」、「新規就業者の確保・育成」が高い傾向が見られた。また、〈農林漁業〉では「生産者の所得向上」が6割を超えており、他の職業より重視していることがうかがえる。

### 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- 農林水産業者への保障と若者確保。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- 農業の大規模法人化に向けた支援。(答えたくない / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- 青果市場や魚市場などに、一般顧客が買いに行けるような施設を作ってもらいたい。自然豊かな県なのに、農作物や有明海の高産物を産直で買えるところが少ない。点在していて小規模施設がほとんどのため、勿体ないと思う。(女性 / 30～39歳 / 佐賀・小城市地区)
- 集団経営などコストをかけず、効率化を促す。(男性 / 40～49歳 / 東・西松浦地区)

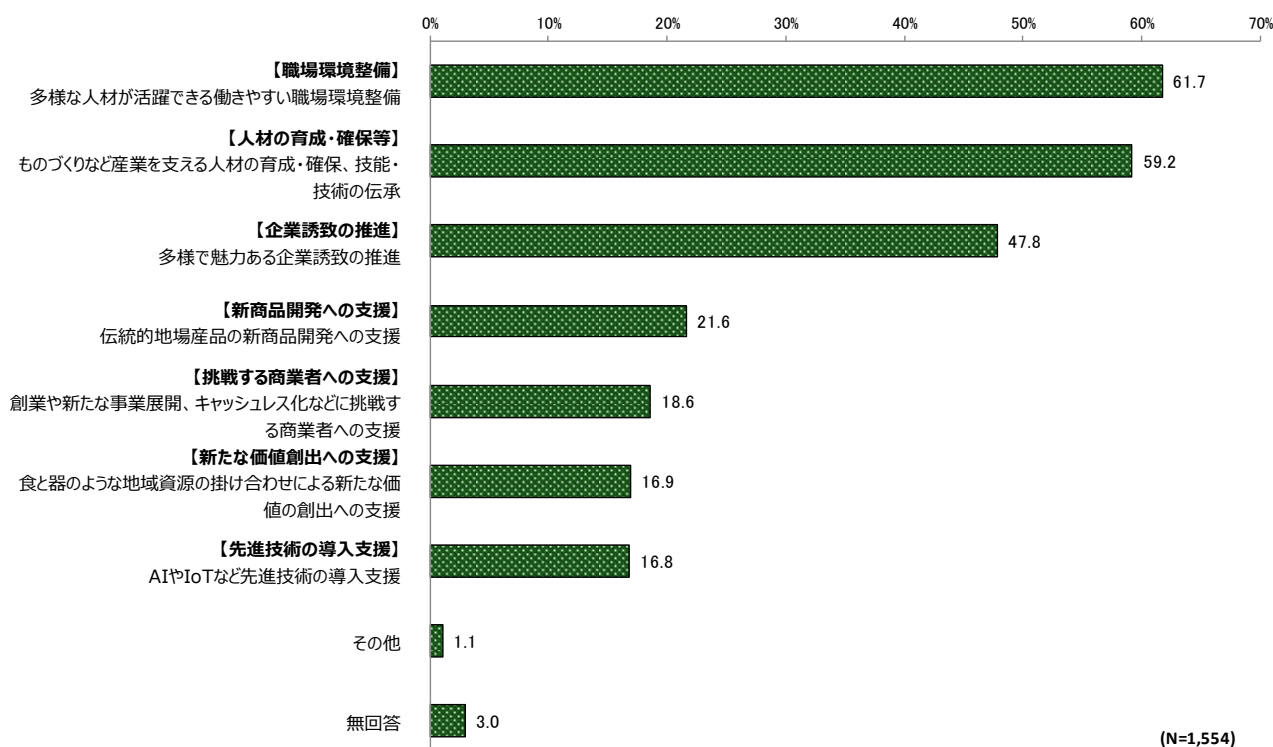
- まず、人材確保。今のままでは、佐賀県の人口の高齢化に伴い、第一次産業に従事する優秀な人材はどんどん減っていくと思います。（男性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 新品質の特許の最短取得、違反の監視。（男性 / 50～59 歳 / 東・西松浦地区）
- 良いものを作っている人たちは沢山いますが、それを大きくとりまとめて、きめ細やかな PR 活動や、人と人をつなぐ存在がいないと伸びないのではないのでしょうか。（女性 / 50～59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 地産地消の促進。（男性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 最近、田や畑を荒らすカモに困っている。（女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 自然はなるべくそのままが良いと思う。使わなくても外国人に売買出来ないようなシステムを作らないと日本は立ち直れません。（男性 / 50～59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 規格外の食材も出店してほしい。（女性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 山麓地帯において高齢化により、後継者不足。（女性 / 60～69 歳 / 三養基・神埼地区）
- 農・水・工・商の有機的な連携。（男性 / 60～69 歳 / 東・西松浦地区）
- 肥沃な佐賀の農地を、これ以上宅地化しない。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 農水産物の積極的な輸出を県単位、または九州地方全体でまとめて主導的にやってもらいたい。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 無農薬野菜づくりを推進する。（男性 / 80 歳以上 / 三養基・神埼地区）

### 【自由意見】

- 農家への支援。（女性 / 20～29 歳 / 杵島・藤津地区）
- 海苔を養殖してますけど、漁業より農業の方が、補助が手厚い。（男性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区）
- 兼業農家でも、やる気のある人はいます。補助事業活用による機械導入など兼業農家でも利用出来ると、農地保全が出来ると思います。（男性 / 40～49 歳 / 三養基・神埼地区）
- 富士町の山奥に住んでいます。これからの農業で地域を盛り上げるため、移住者が増えてくれる事を願い行動しています。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 佐賀県は全国に誇れる農畜水産物が揃っていると思っているが、全国的に見ると他の県に埋もれており、情報発信の取組みが根本的に間違っていると思う。また、毎年、大雨の度に冠水し県内各地で甚大な被害が出ているので、対策をして欲しい。（男性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 大規模農家の支援だけでなく小規模農家への支援もお願いしたい。小規模農家は農業体系の重要な役割をしている。（男性 / 70～79 歳 / 杵島・藤津地区）

## 17. 商工業・サービス業の振興のために県に取り組んでほしいこと

問 17 商工業・サービス業の振興のために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。  
(〇は3つまで)



「職場環境整備」が61.7%と最も高く、次いで「人材の育成・確保等」が59.2%、「企業誘致の推進」が47.8%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	職場環境整備	人材の育成・確保等	企業誘致の推進	新商品開発への支援	挑戦する事業者への支援	新たな価値創出への支援	先進技術の導入支援	その他	無回答
全体	1,554	61.7%	59.2%	47.8%	21.6%	18.6%	16.9%	16.8%	1.1%	3.0%
佐賀・小城地区	560	64.1%	57.0%	47.1%	23.4%	19.6%	18.2%	17.1%	1.1%	2.1%
東・西松浦地区	348	60.9%	58.3%	48.6%	19.3%	18.7%	20.1%	15.5%	1.7%	3.7%
三養基・神埼地区	344	61.9%	60.2%	47.7%	20.1%	18.3%	11.3%	20.3%	0.3%	3.8%
杵島・藤津地区	278	57.9%	63.7%	48.9%	23.4%	16.9%	17.3%	13.7%	1.4%	2.9%

エリア別でみると、<杵島・藤津地区>を除く地区で「職場環境整備」が最も高くなっている。一方、<杵島・藤津地区>では「人材の育成・確保等」が最も高い結果となった。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	職場環境整備	人材の育成・確保等	企業誘致の推進	新商品開発への支援	挑戦する事業者への支援	新たな価値創出への支援	先進技術の導入支援	その他	無回答
全体	1,554	61.7%	59.2%	47.8%	21.6%	18.6%	16.9%	16.8%	1.1%	3.0%
男性	686	58.7%	59.9%	49.9%	24.5%	20.6%	14.3%	21.4%	1.0%	3.1%
女性	814	64.4%	59.3%	46.4%	19.4%	17.2%	18.8%	12.5%	1.1%	3.1%
答えたくない	26	61.5%	42.3%	30.8%	19.2%	15.4%	23.1%	30.8%	3.8%	0.0%

性別でみると、＜男性＞では「人材の育成・確保等」が最も高く、＜女性＞ ＜答えたくない＞では「職場環境整備」が最も高い結果となった。特に＜女性＞は「職場環境整備」が64.4%と、＜男性＞よりも重視していることがうかがえる。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	職場環境整備	人材の育成・確保等	企業誘致の推進	新商品開発への支援	挑戦する事業者への支援	新たな価値創出への支援	先進技術の導入支援	その他	無回答
全体	1,554	61.7%	59.2%	47.8%	21.6%	18.6%	16.9%	16.8%	1.1%	3.0%
18～19歳	3	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	62.7%	45.8%	39.8%	14.5%	28.9%	16.9%	24.1%	0.0%	3.6%
30～39歳	140	69.3%	51.4%	42.1%	16.4%	30.0%	22.9%	18.6%	2.1%	1.4%
40～49歳	297	63.0%	54.5%	46.8%	19.9%	22.9%	18.9%	20.9%	1.0%	2.0%
50～59歳	330	61.8%	60.3%	46.4%	21.5%	20.6%	15.5%	20.9%	1.2%	1.5%
60～69歳	412	60.2%	66.0%	49.0%	24.0%	13.6%	15.5%	11.4%	1.0%	3.2%
70～79歳	238	55.5%	61.3%	55.9%	26.5%	10.5%	16.0%	13.4%	1.3%	6.7%
80歳以上	27	85.2%	59.3%	48.1%	18.5%	7.4%	7.4%	7.4%	0.0%	3.7%

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「職場環境整備」を重視している傾向が見られた。一方、60歳以上79歳以下では「人材の育成・確保等」を重視する傾向が見られた。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	職場環境整備	人材の育成・確保等	企業誘致の推進	新商品開発への支援	挑戦する事業者への支援	新たな価値創出への支援	先進技術の導入支援	その他	無回答
全体	1,554	61.7%	59.2%	47.8%	21.6%	18.6%	16.9%	16.8%	1.1%	3.0%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	65.7%	60.4%	44.8%	20.9%	14.7%	17.3%	14.2%	0.9%	4.1%
2年未満	84	59.5%	69.0%	57.1%	23.8%	17.9%	16.7%	14.3%	0.0%	0.0%
2～5年未満	229	59.4%	58.1%	51.1%	17.5%	21.0%	15.3%	18.3%	1.7%	2.2%
5～10年未満	149	63.1%	56.4%	47.7%	26.8%	22.1%	16.1%	20.1%	0.0%	1.3%
10年以上	384	55.7%	57.8%	49.2%	22.4%	23.4%	18.0%	19.8%	1.8%	2.9%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「職場環境整備」、「人材の育成・確保等」を重視している傾向が見られた。また、＜2年未満＞では、「人材の育成・確保等」が69.0%と特に重視していることがうかがえる。

## 【職業別】

職業	回答件数 (件)	職場環境整備	人材の育成・確保等	企業誘致の推進	新商品開発への支援	挑戦する事業者への支援	新たな価値創出への支援	先進技術の導入支援	その他	無回答
全体	1,554	61.7%	59.2%	47.8%	21.6%	18.6%	16.9%	16.8%	1.1%	3.0%
農林漁業	111	50.5%	62.2%	48.6%	27.0%	9.0%	12.6%	13.5%	0.0%	7.2%
商工・サービス業	142	53.5%	59.9%	47.9%	17.6%	29.6%	16.9%	16.9%	3.5%	2.1%
自由業	64	57.8%	62.5%	40.6%	29.7%	18.8%	18.8%	14.1%	6.3%	4.7%
会社の正社員	439	63.8%	57.2%	48.5%	17.1%	23.0%	15.7%	21.9%	0.7%	2.1%
会社の非正規社員	226	70.4%	60.6%	48.2%	20.8%	14.6%	16.4%	15.0%	0.4%	3.1%
官公庁の正規職員	86	60.5%	52.3%	52.3%	24.4%	22.1%	26.7%	18.6%	0.0%	0.0%
官公庁の非正規職員	45	62.2%	66.7%	55.6%	22.2%	17.8%	20.0%	22.2%	2.2%	0.0%
学生	12	41.7%	16.7%	33.3%	25.0%	16.7%	16.7%	41.7%	0.0%	8.3%
専業主婦、主夫	204	65.7%	64.2%	44.6%	26.0%	13.7%	19.1%	7.4%	0.0%	1.5%
無職	197	55.3%	57.4%	49.2%	22.3%	15.7%	14.7%	16.8%	1.5%	6.6%

職業別でみると、ほとんどの職業で「職場環境整備」、「人材の育成・確保等」を重視している傾向が見られた。特に＜会社の非正規社員＞では「職場環境整備」が70.4%と、他の職業に比べて重視していることがうかがえる。



### 【「その他」の選択肢に記載された取組】

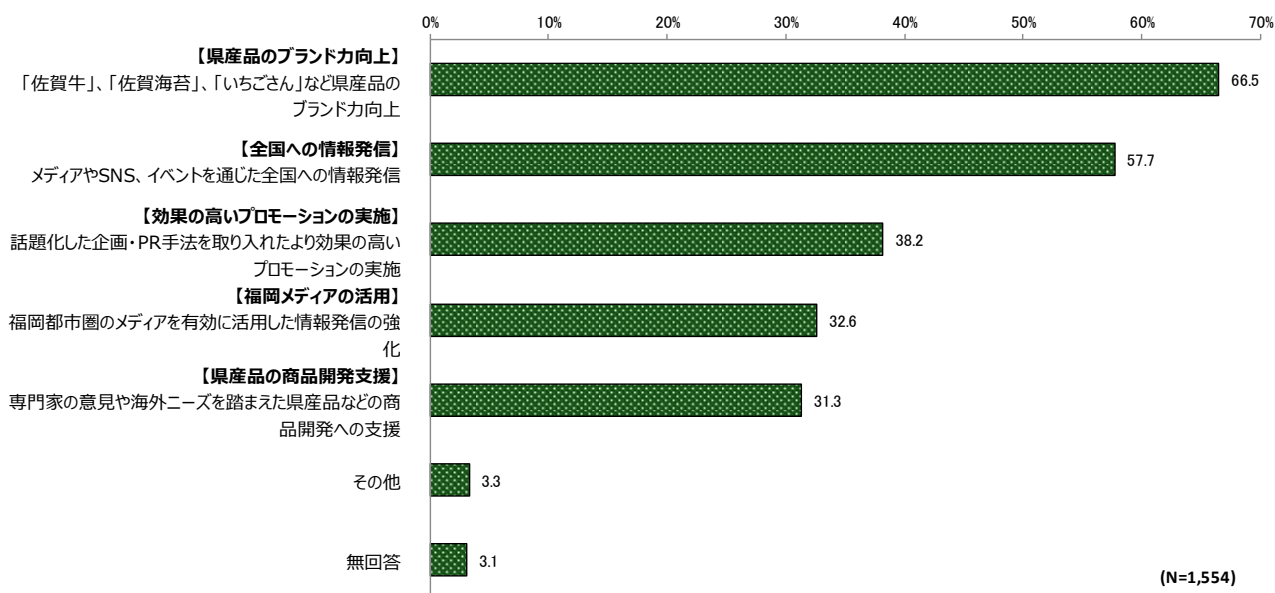
- 給料を上げてほしい。(女性 / 30~39 歳 / 東・西松浦地区)
- 働く場所を増やす事で自然と色々な事が出来ると思う。(男性 / 30~39 歳 / 杵島・藤津地区)
- 佐賀の魅力は食だと思うので、食に関する施設を作してほしい。(女性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- ハード面だけではなく、人材育成の促進。人生 100 年時代を見据え、年齢制限なしの職業チャレンジができる取組。(答えたくない / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 佐賀市の大通りの活性化。(女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 労働賃金の適正化。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 地方の交通難民や買い物難民が多いことを分かってほしい。(男性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 道の駅の増設。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 地域の商店街の中に無料駐車場があれば、町が変わる。駐車場がなく、大型商業施設に行ってしまう。(女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 有望企業の資金供給。(男性 / 70~79 歳 / 東・西松浦地区)

### 【自由意見】

- 住みやすいですが、生活レベルを考えた時に、都会に出ていく人が多いと思う。佐賀で就職したい企業があれば、若者が永住すると思います。老後に住むには良い県です。(男性 / 18~19 歳 / 佐賀・小城地区)
- 本当に佐賀は良いところだと思っていますが、我々若い世代はどうしても都会志向が強いので、一度県外に出ても、再度戻ってきたい、戻ってきやすいと思わせる環境や望む仕事があることが重要だと思います。また、コロナ禍で出会いがないと困っている同世代が周囲に溢れています。イベントの中止や制限ばかりで活力も失われ、地域のことに目を向けて活動できる人はごくわずかだと思います。若者が交流できる機会や場が増える事を切に願います。(男性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 福岡に行かなくても服などが揃う商業施設がほしい。(男性 / 20~29 歳 / 東・西松浦地区)
- 県内企業の休日数を増やせるような取り組み(120 日/年 以上)。せっかく素晴らしい技術力を持つ企業があるのにも関わらず、若者の 3 年以内の離職率が高い。また、県内企業で働こうとする若者も少ない。その理由として休日数 100 日程度の企業は見向きもされないからだと思う。実際に自分の周りにも、「年間休日 105 日は論外」という考えの人ばかりいる。そのような会社はまず内容を見ることさえされない。どうか対策を考えていただけたら若者の人数も増えると思います。(男性 / 20~29 歳 / 杵島・藤津地区)
- 就職するにも学歴等がネックとなって職に就けないことが多い。学歴での就職募集は何とかならないか。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 商業施設の誘致など都会にあるものではなく、佐賀にしかない施設の誘致・設置。(男性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 運送物流事業にも力を入れてほしい(物流拠点等)。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 陶磁器関連の中小企業も今、最悪な状況。ぜひ支援策をお願いしたい。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)

## 18. 佐賀県が良いイメージで広く知られるために県に取り組んでほしいこと

問 18 佐賀県が国内外の人に良いイメージで広く知られるために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「県産品のブランド力向上」が 66.5%と最も高く、次いで「全国への情報発信」が 57.7%、「効果の高いプロモーションの実施」が 38.2%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	県産品のブ ランド力向 上	全国への情 報発信	効果の高い プロモー ションの実 施	福岡メディ アの活用	県産品の商 品開発支援	その他	無回答
全 体	1,554	66.5%	57.7%	38.2%	32.6%	31.3%	3.3%	3.1%
佐賀・小城地区	560	64.5%	58.4%	40.2%	32.0%	30.5%	4.5%	2.0%
東・西松浦地区	348	62.4%	56.6%	37.1%	39.7%	30.2%	2.3%	4.0%
三養基・神埼地区	344	70.3%	54.7%	35.8%	32.0%	29.7%	2.0%	3.2%
杵島・藤津地区	278	70.5%	62.6%	39.6%	25.9%	36.7%	3.6%	3.2%

エリア別でみると、すべての地区で「県産品のブランド力向上」が最も高く、特に＜三養基・神埼地区＞＜杵島・藤津地区＞では7割を超えている。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	県産品のブ ランド力向 上	全国への情 報発信	効果の高い プロモー ションの実 施	福岡メディ アの活用	県産品の商 品開発支援	その他	無回答
全 体	1,554	66.5%	57.7%	38.2%	32.6%	31.3%	3.3%	3.1%
男性	686	65.2%	58.0%	41.3%	35.9%	31.9%	3.9%	2.8%
女性	814	67.4%	57.5%	36.0%	30.2%	31.3%	2.6%	2.9%
答えたくない	26	65.4%	61.5%	30.8%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%

性別でみると、＜男性＞、＜女性＞、＜答えたくない＞ともに「県産品のブランド力向上」が最も高く、次いで「全国への情報発信」となっている。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	県産品のブランド力向上	全国への情報発信	効果の高いプロモーションの実施	福岡メディアの活用	県産品の商品開発支援	その他	無回答
全体	1,554	66.5%	57.7%	38.2%	32.6%	31.3%	3.3%	3.1%
18～19歳	3	33.3%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	72.3%	67.5%	31.3%	25.3%	24.1%	3.6%	1.2%
30～39歳	140	74.3%	70.0%	40.7%	30.0%	24.3%	4.3%	1.4%
40～49歳	297	68.4%	55.6%	44.8%	28.6%	27.9%	2.0%	3.7%
50～59歳	330	65.2%	55.2%	42.4%	31.8%	32.1%	4.5%	1.5%
60～69歳	412	64.1%	56.8%	33.5%	34.5%	34.7%	2.7%	2.7%
70～79歳	238	62.6%	55.5%	35.3%	40.3%	35.3%	2.5%	5.9%
80歳以上	27	74.1%	59.3%	22.2%	29.6%	37.0%	11.1%	3.7%

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「県産品のブランド力向上」、「全国への情報発信」が高くなっている。特に「全国への情報発信」については若年層で高い傾向となっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	県産品のブランド力向上	全国への情報発信	効果の高いプロモーションの実施	福岡メディアの活用	県産品の商品開発支援	その他	無回答
全体	1,554	66.5%	57.7%	38.2%	32.6%	31.3%	3.3%	3.1%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	68.7%	57.5%	36.6%	31.1%	31.8%	2.3%	3.5%
2年未満	84	71.4%	61.9%	33.3%	31.0%	38.1%	2.4%	1.2%
2～5年未満	229	61.6%	58.5%	45.0%	33.2%	28.8%	3.9%	2.2%
5～10年未満	149	63.1%	61.7%	36.9%	37.6%	33.6%	2.0%	2.0%
10年以上	384	66.4%	56.0%	39.1%	33.9%	29.7%	5.5%	3.4%

居住歴別でみると、すべての居住年数で「県産品のブランド力向上」が最も高くなっている。特に<2年未満>では、7割を超えていることから、ブランド力向上への取組を重視していることがうかがえる。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 災害を少なくする。(女性 / 20～29歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 大きな商業施設をつくる。(女性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 個人が自分の身近な自然や環境や良さを SNS で発信する事を支援するようなイベントの定期的な開催と、それを見て県内を訪れるインバウンド需要を受け入れられるだけのインフラ設備の充実。(男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 行きたくなる様なスポットの創設。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 県民のモラル向上。(男性 / 30～39歳 / 東・西松浦地区)
- ・ 重点的な課題をキーワードにまとめて取り組むのは賛成だが、多すぎると思う。重点を絞り、県民全体の目標を統一できるものにし、県民全てがその合言葉を唱えられるようになり、佐賀県民全体で全国、ひいては世界に発信できる意志統一ができればと思う。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 留学生や技能実習生に第2の母国と思ってもらえるような取組み。(答えたくない / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 人気 YouTuber に来て見て、食べてもらい発信してもらおう。(男性 / 40～49歳 / 東・西松浦地区)
- ・ 1度佐賀へ来てもらい、再度佐賀へ。そして移住してもらえる様な取組みをお願いしたいです。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 神社仏閣のPR。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 日本産(佐賀県産)の安全性のアピール。(女性 / 50～59歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 一人一人が佐賀の人として誇りをもつ。(男性 / 50～59歳 / 東・西松浦地区)
- ・ 観光や食事処のアピール。(男性 / 50～59歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 外国人移住者を受け入れる。(女性 / 50～59歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 県外の人から見た佐賀県の魅力を県内の人が見直す取組み。(女性 / 50～59歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 歴史的な場所が放置されているので、整備して大切にしたい。(男性 / 50～59歳 / 杵島・藤津地区)

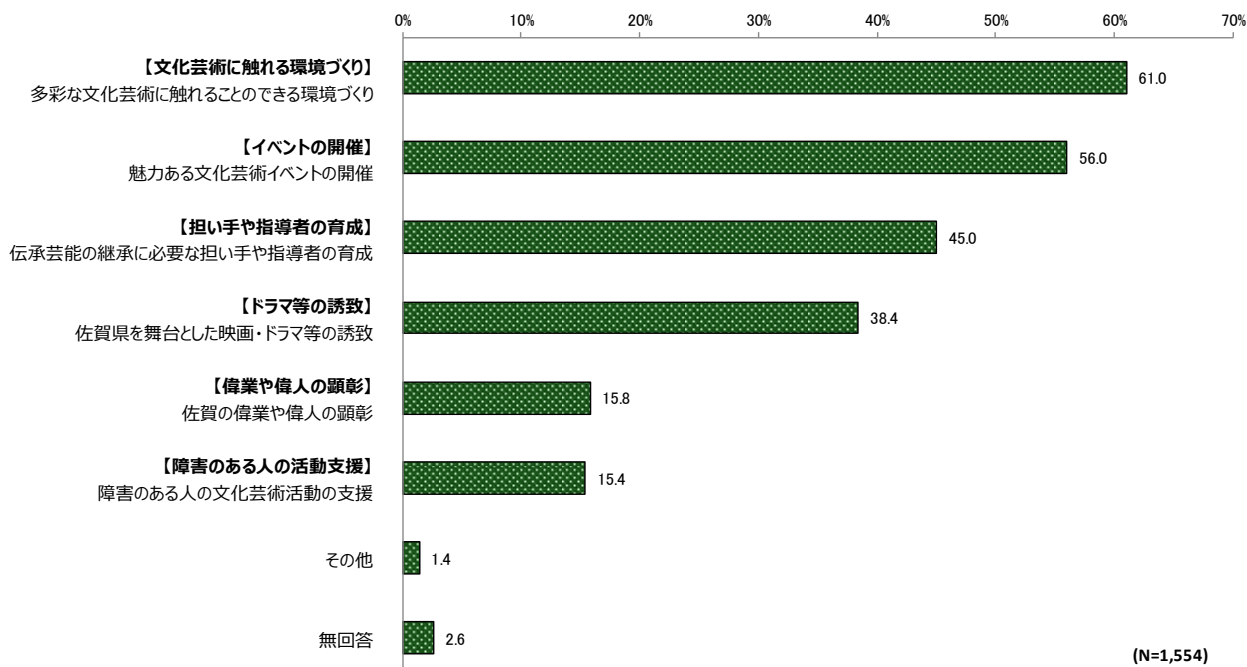
- 本当の佐賀の魅力を佐賀人に認識してもらうこと。（女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 魅力度ランキングでいつも下の方が悲しく思う。どんぐり村や有田ポーセリンパークなどにもっと観光客を呼び込めるように力を入れてほしい。ネモフィラや芝桜などを植えて SNS 映えする公園になればいいと思う。（女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- まずは「良いイメージ」の県づくりをしてからの話だと思います。現時点では「良いイメージ」とは言い切れません。（男性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 佐賀県出身のタレントの活用。（男性 / 60～69 歳 / 東・西松浦地区）
- 他の県との共同開発は出来ないでしょうか。（男性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 歴史上の有名な人物をメディア発信する取組み。（女性 / 60～69 歳 / 三養基・神埼地区）
- 空港駐車場が無料であることの周知。また、福岡県へのアクセスの利便性を県外の方に周知する。（女性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 「佐賀県民になれば安心よね」と言われるくらい独自のプロジェクト（他にないもの）の発足。（女性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 他県にないような魅力ある観光施設、観光ルートなどを設定して情報発信する。（男性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 歴史から学びその基礎で未来を創造。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- テレビ、ラジオで宣伝する。（女性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 古くからある伝統芸能の技術をもっと再確認できる支援プロモーションづくりに努めてほしい。（女性 / 70～79 歳 / 杵島・藤津地区）
- 佐賀県独自のブランドを開発する。（男性 / 70～79 歳 / 三養基・神埼地区）
- 農協、漁協等の生産団体等が、自ら PR に取り組めるように指導、育成支援。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 今をそのまま出す、当たり前佐賀県を飾らずに出す。（男性 / 80 歳以上 / 東・西松浦地区）
- 新幹線を核とした高速交通網の充実。（女性 / 80 歳以上 / 杵島・藤津地区）
- 県民の「佐賀は何もないけん…」という意識を変える。暮らしやすくしていいところです。（女性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区）

## 【自由意見】

- 各市のイベントに力を入れたり、もっと県をアピールしてもいいと思う。（男性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区）
- 優良企業や、観光地として栄える町のトップの方にコンサルティングを受ける。佐賀の美味しい食物や温泉をどうやったら、活かしていかれるか、考えて、対策を練って欲しい。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- アピール次第で変わると思います。おしゃれな感じで若者をターゲットにしたり、かつこよさや老舗感を出して退職されたシニア世代をターゲットにしたり、何か 1 つでも大きく注目されたら、変わるのだろうな、と思います。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 観光にもう少し力を入れてほしい。佐賀も沢山魅力があるのにもったいないと思う。美味しい食べ物も沢山あるのでビュッフェやアフタヌーンティーなど楽しめる店がもっと増えてほしいです。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 唐津市在住なので、佐賀市や佐賀方面のことは、よく分かりませんが、もっと観光などに力を入れて他県の人達が遊びに行きたいと思うような県にして欲しい。美味しい物も、自然も景色も良い所は沢山あるのに、魅力のない場所のように思われているのは、本当に悲しいです。県の PR や力を入れるところが少し違うんじゃないかと思う。他県の良いところを見習って取り入れてほしい。（女性 / 40～49 歳 / 東・西松浦地区）
- 佐賀を世界に向けて発信していくという考えにとっても期待しています。明治維新時のように視野を広くして、佐賀は世界を見ていくべきです。九州や国内での位置に一喜一憂するのではなく、世界を相手に存在感を高めてほしいと思います。（男性 / 50～59 歳 / 東・西松浦地区）

## 19. 文化や芸術に親しむために県に取り組んでほしいこと

問 19 文化や芸術に親しむために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「文化芸術に触れる環境づくり」が 61.0%と最も高く、次いで「イベントの開催」が 56.0%、「担い手や指導者の育成」が 45.0%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	文化芸術に触れる環境づくり	イベントの開催	担い手や指導者の育成	ドラマ等の誘致	偉業や偉人の顕彰	障害のある人の活動支援	その他	無回答
全体	1,554	61.0%	56.0%	45.0%	38.4%	15.8%	15.4%	1.4%	2.6%
佐賀・小城地区	560	62.7%	57.7%	42.1%	39.1%	14.6%	15.2%	2.3%	1.6%
東・西松浦地区	348	61.2%	53.7%	47.4%	38.5%	15.2%	14.7%	1.4%	3.4%
三養基・神埼地区	344	62.5%	56.7%	41.3%	39.5%	16.0%	15.1%	0.6%	2.9%
杵島・藤津地区	278	55.4%	54.3%	53.6%	35.3%	19.4%	17.3%	0.7%	2.5%

エリア別でみると、すべての地区で「文化芸術に触れる環境づくり」が最も高くなっている。また、〈杵島・藤津地区〉では「担い手や指導者の育成」が5割を超えており、他の地区と比べてやや重視していることがうかがえる。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	文化芸術に触れる環境づくり	イベントの開催	担い手や指導者の育成	ドラマ等の誘致	偉業や偉人の顕彰	障害のある人の活動支援	その他	無回答
全体	1,554	61.0%	56.0%	45.0%	38.4%	15.8%	15.4%	1.4%	2.6%
男性	686	58.7%	53.9%	48.3%	43.7%	19.4%	14.9%	1.0%	2.0%
女性	814	63.0%	57.6%	42.9%	34.4%	12.7%	15.6%	1.6%	2.9%
答えたくない	26	65.4%	53.8%	42.3%	26.9%	19.2%	19.2%	7.7%	0.0%

性別でみると、〈男性〉、〈女性〉、〈答えたくない〉ともに「文化芸術に触れる環境づくり」が最も高く、〈女性〉が〈男性〉を上回っている。一方、「担い手や指導者の育成」については〈男性〉が〈女性〉を上回っており、女性より重視していることがうかがえる。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	文化芸術に 触れる環境 づくり	イベントの 開催	担い手や指 導者の育成	ドラマ等の 誘致	偉業や偉人 の顕彰	障害のある 人の活動支 援	その他	無回答
全 体	1,554	61.0%	56.0%	45.0%	38.4%	15.8%	15.4%	1.4%	2.6%
18～19歳	3	66.7%	33.3%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	60.2%	59.0%	37.3%	41.0%	13.3%	16.9%	0.0%	2.4%
30～39歳	140	63.6%	51.4%	40.0%	43.6%	19.3%	17.1%	2.1%	0.7%
40～49歳	297	62.3%	59.3%	41.1%	36.4%	11.4%	17.8%	1.7%	2.7%
50～59歳	330	66.4%	55.8%	43.0%	38.5%	17.0%	11.8%	2.4%	1.5%
60～69歳	412	57.8%	56.6%	47.6%	37.6%	15.0%	13.3%	1.2%	3.4%
70～79歳	238	57.6%	55.0%	54.6%	37.8%	19.7%	19.3%	0.4%	2.5%
80歳以上	27	48.1%	37.0%	51.9%	37.0%	22.2%	18.5%	0.0%	7.4%

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「文化芸術に触れる環境づくり」が最も高く、特に 59 歳以下では 6 割を超えていることから、県の取組として重視していることがうかがえる。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	文化芸術に 触れる環境 づくり	イベントの 開催	担い手や指 導者の育成	ドラマ等の 誘致	偉業や偉人 の顕彰	障害のある 人の活動支 援	その他	無回答
全 体	1,554	61.0%	56.0%	45.0%	38.4%	15.8%	15.4%	1.4%	2.6%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	58.6%	54.9%	43.1%	38.5%	17.0%	16.8%	1.0%	3.2%
2年未満	84	59.5%	57.1%	52.4%	44.0%	19.0%	19.0%	1.2%	0.0%
2～5年未満	229	66.4%	54.1%	46.3%	34.1%	15.7%	15.7%	1.3%	1.3%
5～10年未満	149	55.7%	57.0%	51.7%	40.9%	16.1%	12.1%	1.3%	1.3%
10年以上	384	64.6%	59.6%	43.8%	39.6%	12.8%	13.5%	2.3%	2.9%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「文化芸術に触れる環境づくり」が最も高くなっている。また、<5～10 年未満>では、「イベントの開催」も重視していることがうかがえる。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- 佐賀の偉業や偉人の顕彰は必要以上にする必要はない。未来はこれから創るものであって、過去の偉業に固執し過ぎたら何も産み出せない。(男性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 文化、芸術を若者世代がもっと気軽に楽しめるイベントの開催。(男性 / 30～39 歳 / 三養基・神埼地区)
- 多彩なワークショップの開催。(答えたくない / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 孫の代まで残す事も大事。(男性 / 40～49 歳 / 東・西松浦地区)
- 人気ある芸能人等をイベントに参加させてほしい。(男性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 学校で、地元の伝統工芸(陶磁器)などしっかり教えるべき。(女性 / 40～49 歳 / 東・西松浦地区)
- 全国や有名都市で開催されている美術展(博物展)を県立美術館(博物館)でも開催してほしい。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 親しむための厚い情報発信。(男性 / 50～59 歳 / 東・西松浦地区)
- 魅力ある文化芸術イベント開催を増やす。(女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区)
- サンライズパークにせっかく立派なアリーナがあるので、県外からでも人が集まるように、有名なミュージシャンのライブを開催してほしい。(女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 世界的有名な日本人建築家に建物をつくってもらおう。(女性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 「ゾンドラランドサガ」等の有効活用。(男性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 文化・芸術を伝承している方々への支援(例えば、練習場へ保管倉庫)。(女性 / 60～69 歳 / 東・西松浦地区)
- ものづくりの体験コーナーをたくさん開催して、見ることから自ら関わるという体験型で文化や芸術のよさや楽しさに触れたら、興味をもち老若男女問わず人気が出ると思う。親しむためには、まず興味をもってもらうことだと思います(陶芸でも美術でも盆栽でも体験してみたい)。(女性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 佐賀市内での伝統的なお祭りが無い。(女性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区)

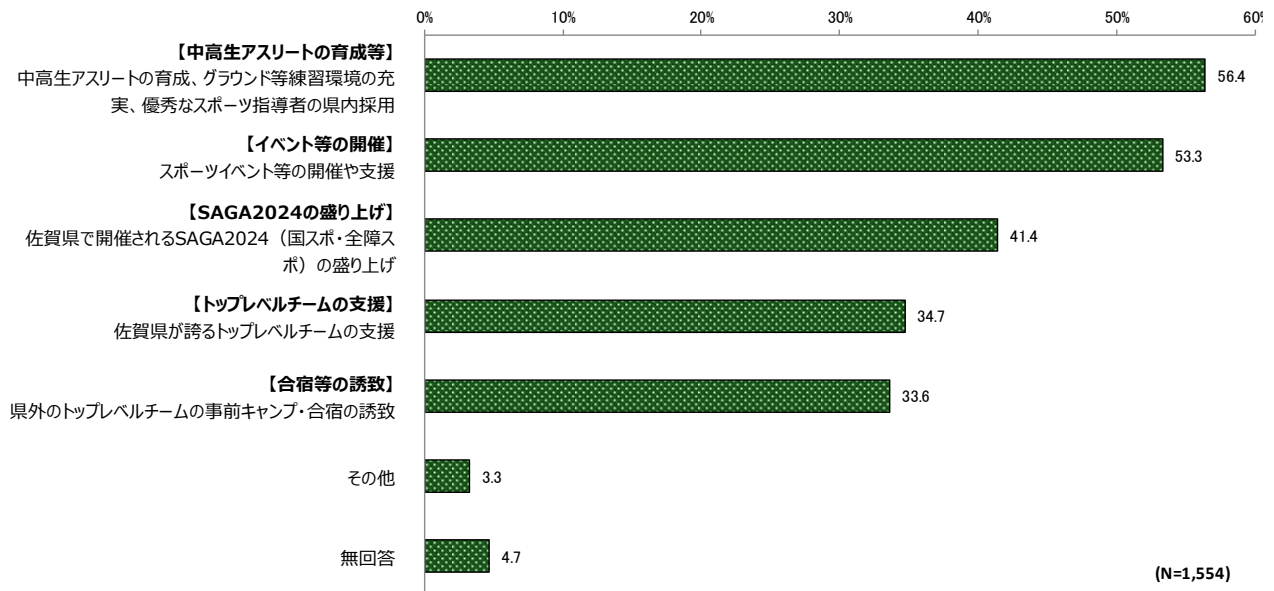


### 【自由意見】

- 若者向けの現代アートのイベントなどをもっと盛んに開催して欲しい。(男性 / 20～29 歳 / 杵島・藤津地区)
- 佐賀の歴史を築いた経緯を誰もが知らなさ過ぎる。(男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 唐津市には歴史の遺産が多くあります。その遺産がなくなろうとしています。(男性 / 70～79 歳 / 東・西松浦地区)

## 20. スポーツを楽しむために県に取り組んでほしいこと

問 20 スポーツを楽しむために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「中高生アスリートの育成等」が 56.4%と最も高く、次いで「イベント等の開催」が 53.3%、「SAGA2024 の盛り上げ」が 41.4%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	中高生アスリートの育成等	イベント等の開催	SAGA2024の盛り上げ	トップレベルチームの支援	合宿等の誘致	その他	無回答
全体	1,554	56.4%	53.3%	41.4%	34.7%	33.6%	3.3%	4.7%
佐賀・小城地区	560	54.6%	54.6%	43.4%	36.3%	32.9%	3.9%	2.7%
東・西松浦地区	348	58.6%	49.7%	39.1%	29.3%	39.4%	2.6%	8.0%
三養基・神埼地区	344	57.6%	53.5%	37.5%	39.8%	33.1%	2.3%	3.5%
杵島・藤津地区	278	56.8%	53.6%	44.2%	33.1%	29.1%	4.3%	5.4%

エリア別で見ると、すべての「中高生アスリートの育成等」、「イベント等の開催」が高い傾向が見られた。また、〈三養基・神埼地区〉では「トップレベルチームの支援」、〈東・西松浦地区〉では「合宿等の誘致」も重視していることがうかがえる。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	中高生アスリートの育成等	イベント等の開催	SAGA2024の盛り上げ	トップレベルチームの支援	合宿等の誘致	その他	無回答
全体	1,554	56.4%	53.3%	41.4%	34.7%	33.6%	3.3%	4.7%
男性	686	58.0%	54.5%	37.9%	38.3%	39.7%	3.2%	3.9%
女性	814	56.6%	52.2%	44.0%	31.6%	28.6%	3.2%	4.9%
答えたくない	26	26.9%	46.2%	42.3%	38.5%	34.6%	11.5%	11.5%

性別で見ると、〈男性〉、〈女性〉ともに「中高生アスリートの育成等」が高く、男性がより重視していることがうかがえる。また、〈男性〉は「合宿等の誘致」も重視していることがわかった。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	中高生アス リートの育 成等	イベント等 の開催	SAGA20 24の盛り 上げ	トップレ ベルチー ムの支 援	合宿等の誘 致	その他	無回答
全 体	1,554	56.4%	53.3%	41.4%	34.7%	33.6%	3.3%	4.7%
18～19歳	3	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	57.8%	54.2%	42.2%	42.2%	28.9%	1.2%	3.6%
30～39歳	140	55.0%	53.6%	40.7%	32.1%	38.6%	7.1%	3.6%
40～49歳	297	55.6%	55.6%	39.7%	34.3%	34.0%	4.4%	4.0%
50～59歳	330	55.8%	57.6%	36.7%	35.8%	35.5%	4.5%	3.0%
60～69歳	412	55.8%	50.7%	40.0%	35.0%	33.5%	2.2%	4.6%
70～79歳	238	61.3%	47.1%	51.3%	32.8%	31.1%	1.3%	8.0%
80歳以上	27	48.1%	55.6%	51.9%	40.7%	25.9%	0.0%	7.4%

年齢別でみると、多くの年齢で「中高生アスリートの育成等」、「イベント等の開催」が高い傾向が見られた。また、70歳以上の高齢層では、「SAGA2024の盛り上げ」も5割を超えており、重視していることがうかがえる。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	中高生アス リートの育 成等	イベント等 の開催	SAGA20 24の盛り 上げ	トップレ ベルチー ムの支 援	合宿等の誘 致	その他	無回答
全 体	1,554	56.4%	53.3%	41.4%	34.7%	33.6%	3.3%	4.7%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	55.2%	52.0%	47.2%	34.0%	31.2%	2.5%	4.8%
2年未満	84	58.3%	61.9%	36.9%	42.9%	39.3%	0.0%	1.2%
2～5年未満	229	58.1%	54.6%	32.3%	35.4%	36.2%	4.8%	3.5%
5～10年未満	149	61.1%	51.7%	39.6%	32.9%	39.6%	3.4%	5.4%
10年以上	384	56.0%	53.9%	39.3%	34.9%	32.8%	4.7%	5.5%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「中高生アスリートの育成等」、「イベント等の開催」が高い傾向が見られた。また<2年未満>と居住年数が短い方は「トップレベルチームの支援」も重視していることがうかがえる。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 運動施設(体育館、運動公園等)の充実。(男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ スポーツイベントに合わせてマルシェを開催する。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 各地域のスポーツ施設や公園の充実。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 楽しく長くスポーツを続けられるように、色々なスポーツを体験してみたい。(女性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 総合グラウンドのランニングコースの照明の増設。(男性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 様々なスポーツ、遊びに気軽に取り組める公園、施設の充実。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 県外トップレベルチームの試合の誘致。(女性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 休日に定期的なスポーツ講座、年40回ほど開催してほしい。(答えたくない / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 指導者に恵まれずに部活をやめました。社会体育ではハードルが高い。(男性 / 40～49歳 / 東・西松浦地区)
- ・ 一般の人が楽しめるスポーツ施設の整備。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 指導者育成。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 屋内での運動や屋内体育館等を無料開放してほしい。(答えたくない / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ スポーツは十分だと思いますので、起業家教育などを重視すべきと思います。(男性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 優秀な人材が高校進学の際に県外にでていってしまう。県内に残ってもらう選択肢を与えるための強化。(男性 / 40～49歳 / 東・西松浦地区)
- ・ 子どもに対してボランティアで指導している人への支援。(男性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 障がい者スポーツの支援。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ プロチームとの交流の機会、スカウト環境の構築など。(男性 / 40～49歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 生涯スポーツと心身の豊かさを求める。(女性 / 50～59歳 / 佐賀・小城地区)

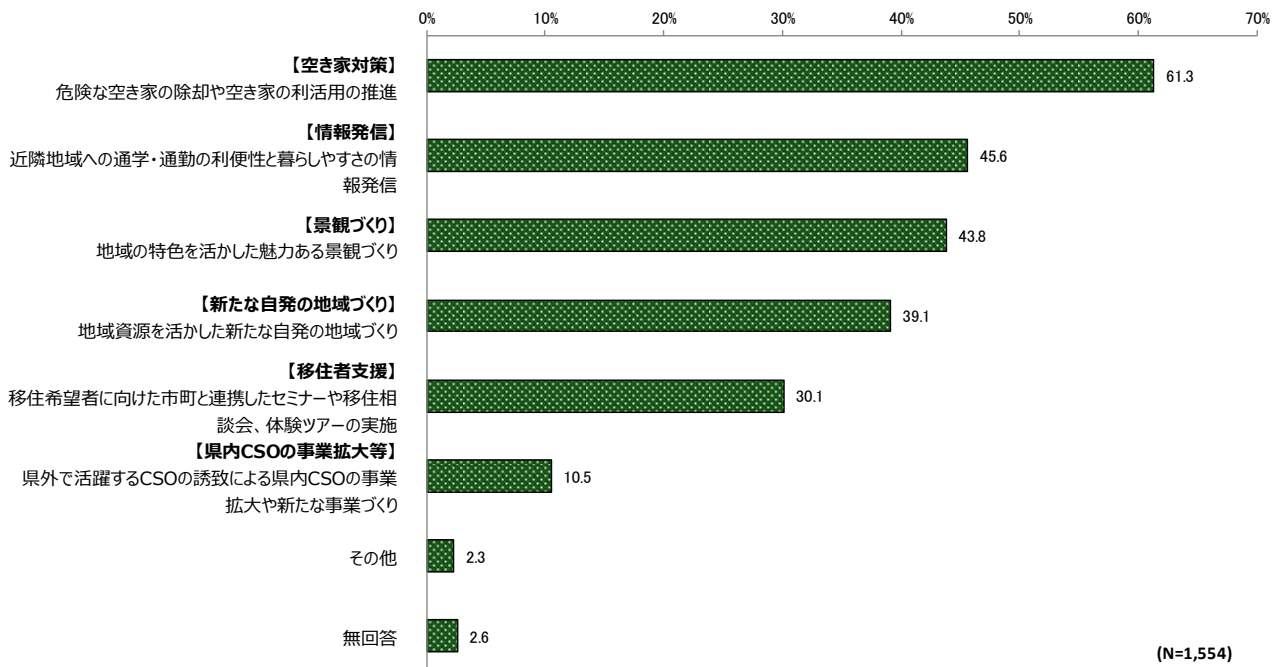
- 一般の人が使用できる球技のコートを増やしてほしい。特に土・日は部活に専用されている。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 対外試合に対する補助。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 地域を中心にした部活動への支援。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- トップレベル選手と県民の交流。県民が使用できるスポーツ施設を増やす。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 優秀な指導者による小学生からの体験や経験。(女性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- “トップ”ばかりではなく“初心者”が楽しめる、始められるスポーツを増やしてほしい。(男性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 佐賀駅周辺の並木を切り倒して、新しいアリーナを整備したそうですが、見識を疑います。自然を大事にしてほしいです。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- サガン鳥栖への支援。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 今までスポーツをやらなかった人が楽しめるイベントを計画してほしい。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- スポーツ有名人の講演会や直接指導等によりモチベーションアップや高い目標設定に繋がるようなイベントの開催。生涯スポーツを続けられるようなジムやスポーツクラブ等の充実。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- スポーツ大会が開催できるような大規模施設をつかって欲しい。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 施設の拡充。(男性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区)
- スポーツ関連予算が大きすぎると思う。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 公園でスポーツのできる場所を造ってほしい。体力づくりのために子どもと一緒に利用できるような施設の充実。(女性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 生涯スポーツの振興。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 身近なスポーツ施設への助成。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 日常的にスポーツを楽しめる環境の整備。(男性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区)
- 高齢者が楽しく体力づくりができるよう、色々な器具がそろった施設等を利用しやすくする(利用料の補助)。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- スポーツ施設の整備。(女性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- 幼児、園児が体を動かせるような施設、用具を設置する。例えばホッピング、一輪車など。(女性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- トップチームなどの試合に県民を招待。(女性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)

### 【自由意見】

- サガン鳥栖を県として、もっと応援してほしい。(女性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区)
- 佐賀県内のプロスポーツ団体に行政としてもっと協力してほしい。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 現在プロスポーツバレー、バスケット、サッカー等ありますが、県行政がもっと後押しをして、まずは佐賀在住の人に興味をもってもらうような、イベントをお願いします。(男性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区)
- 47 年に 1 回開催の国スポにお金をかけすぎではないか。維持管理にも税金が使われる。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)

## 2.1. 住みやすい地域づくりのために県に取り組んでほしいこと

問 21 住みやすい地域づくりのために県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「空き家対策」が 61.3%と最も高く、次いで「情報発信」が 45.6%、「景観づくり」が 43.8%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	空き家対策	情報発信	景観づくり	新たな自発の地域づくり	移住者支援	県内CSOの事業拡大等	その他	無回答
全体	1,554	61.3%	45.6%	43.8%	39.1%	30.1%	10.5%	2.3%	2.6%
佐賀・小城地区	560	60.4%	44.5%	43.9%	37.5%	28.9%	12.7%	3.0%	1.8%
東・西松浦地区	348	57.8%	50.3%	42.8%	38.5%	34.2%	11.5%	0.6%	3.2%
三養基・神埼地区	344	61.0%	45.3%	43.9%	42.2%	27.3%	6.4%	2.0%	2.6%
杵島・藤津地区	278	66.9%	41.7%	45.0%	39.9%	30.6%	9.7%	3.6%	2.9%

エリア別でみると、すべての地区で「空き家対策」が最も高くなっている。特に<杵島・藤津地区>では7割近いことから、他の地区と比べて重視していることがうかがえる。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	空き家対策	情報発信	景観づくり	新たな自発の地域づくり	移住者支援	県内CSOの事業拡大等	その他	無回答
全体	1,554	61.3%	45.6%	43.8%	39.1%	30.1%	10.5%	2.3%	2.6%
男性	686	61.8%	44.2%	44.2%	42.0%	35.0%	10.8%	1.6%	2.2%
女性	814	60.3%	47.1%	43.7%	37.6%	26.0%	10.2%	2.7%	2.5%
答えたくない	26	69.2%	30.8%	34.6%	30.8%	23.1%	7.7%	11.5%	7.7%

性別でみると、<男性>、<女性>ともに「空き家対策」が最も高く、<男性>と<女性>はともに同程度重視していることがうかがえる。

### 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	空き家対策	情報発信	景観づくり	新たな自発 の地域づく り	移住者支援	県内CSO の事業拡大 等	その他	無回答
全体	1,554	61.3%	45.6%	43.8%	39.1%	30.1%	10.5%	2.3%	2.6%
18～19歳	3	66.7%	66.7%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	61.4%	43.4%	47.0%	41.0%	27.7%	6.0%	1.2%	2.4%
30～39歳	140	67.1%	47.1%	37.1%	38.6%	30.7%	5.7%	6.4%	0.7%
40～49歳	297	65.0%	49.2%	40.7%	37.7%	28.6%	12.1%	2.4%	2.0%
50～59歳	330	54.8%	48.2%	46.7%	39.1%	27.3%	11.5%	3.3%	1.8%
60～69歳	412	62.9%	41.0%	42.0%	35.9%	36.2%	11.2%	1.7%	2.7%
70～79歳	238	60.1%	44.5%	49.6%	46.2%	25.2%	10.9%	0.4%	4.2%
80歳以上	27	48.1%	44.4%	48.1%	40.7%	37.0%	3.7%	0.0%	7.4%

年齢別でみると、ほとんどの年齢で「空き家対策」、「情報発信」が高い傾向が見られた。また、<80歳以上>では「景観づくり」も同程度重視していることがうかがえる。

### 【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	空き家対策	情報発信	景観づくり	新たな自発 の地域づく り	移住者支援	県内CSO の事業拡大 等	その他	無回答
全体	1,554	61.3%	45.6%	43.8%	39.1%	30.1%	10.5%	2.3%	2.6%
1人世帯	121	68.6%	43.8%	40.5%	38.8%	24.8%	14.0%	4.1%	2.5%
夫婦だけ	357	61.3%	43.1%	40.9%	38.9%	33.3%	11.8%	2.5%	3.9%
2世代	718	59.1%	46.9%	46.7%	39.4%	29.7%	9.1%	1.8%	1.9%
3世代	296	62.5%	47.0%	42.9%	39.5%	30.1%	10.5%	2.4%	2.0%
その他	35	62.9%	42.9%	34.3%	42.9%	25.7%	11.4%	5.7%	0.0%

家族構成別でみると、すべての家族構成で「空き家対策」が最も高くなっている。特に<1人世帯>では68.6%と、他の家族構成に比べてより重視していることがうかがえる。

### 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	空き家対策	情報発信	景観づくり	新たな自発 の地域づく り	移住者支援	県内CSO の事業拡大 等	その他	無回答
全体	1,554	61.3%	45.6%	43.8%	39.1%	30.1%	10.5%	2.3%	2.6%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	62.1%	46.7%	44.3%	40.6%	28.3%	10.0%	1.3%	3.0%
2年未満	84	65.5%	42.9%	40.5%	39.3%	44.0%	10.7%	1.2%	0.0%
2～5年未満	229	64.2%	47.2%	39.7%	38.9%	28.8%	8.7%	2.6%	1.7%
5～10年未満	149	62.4%	43.6%	43.6%	40.9%	33.6%	9.4%	4.0%	2.0%
10年以上	384	57.8%	44.3%	46.9%	36.5%	29.9%	12.0%	3.6%	2.6%

居住歴別でみると、すべての居住年数で「空き家対策」が最も高くなっている。また、<2年未満>では「移住者支援」も44.0%と、他の層と比べてより重視していることがうかがえる。

### 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- ・ 通勤時間帯の交通渋滞への対策。(男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ スーパーの増設。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ インフラ整備。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 公共交通機関の整備。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- ・ 通学路の整備。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 近隣地域への通学通勤の利便性と暮らしやすさの定期的な改善チェック。(女性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- ・ 無駄な道路工事等(青い枠のプリントや、自転車道など)をやめ、歩道のペイントや見通しの悪い所の注意喚起をもっとすべき。(女性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 雨水用水路の補修、修理。(答えたくない / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 通学路での危険度調査。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ JRの駅(弥生が丘駅)に特急が停まるようにして欲しい。(女性 / 40～49歳 / 三養基・神埼地区)

- バスがとても不便です。自家用車がなくてもどうにかなるよう（通勤も含めて）もっと便数・路線を増やして欲しい。今のままだと減る一方なのは目に見えています。（女性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 県民全員が参加できるような交流会の企画。困っている人の声が届くような関係づくりを行政が積極的に進めて欲しい。（男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 公共交通の充実。（男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 高齢化に伴う免許返納と交通機関の確保の両立への具体的施策。（女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 水害をなくして欲しい、他県へ人が流れている。（答えたくない / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区）
- インフラの充実。（女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 高齢者等が移動しやすい（買い物、病院等）交通体系の改善。（女性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区）
- お年寄りたちを幸にする地道な努力が大事だと思います。（女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 車を運転できなくても困らない環境づくり。（女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区）
- 東西への路線バス強化。（男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 若者が移住し生活しやすいような街づくり。婦人会、老人会、PTA 等の組織は以前からの流れではなく若者の意見を取り入れ時代に合わせた変革が必要ではないか。（女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 空き家等の格安支給等の政策がエコで効率よく県内外からの移住者が利用しやすくなって良いのではないかとと思われる。（男性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区）
- 家賃の補助。（女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 禁煙区域の拡大、違反者の罰則化。（男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区）
- 公共の交通手段が少ないため、移動が不便。（女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 住みやすい個人の住居がほしい。（女性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区）
- 災害のない町づくり、排水機場の整備。（女性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区）
- 車線や横断歩道の白線を塗り直してほしい。また、歩道や街路樹のまわりの雑草が伸び放題のため、清掃の意味での景観づくりを望みます。（女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 県の団地など入る時の条件が厳しすぎる。空き部屋が沢山あるので有効活用してほしい。（女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 県内 CSO の支援。（男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 車に乗れなくなったら買い物が不便であり、スーパーが特定の地域に偏りすぎであると思います。（女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 荒れた土地の掃除や、崩れかけた土地等点検、補修。（女性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区）

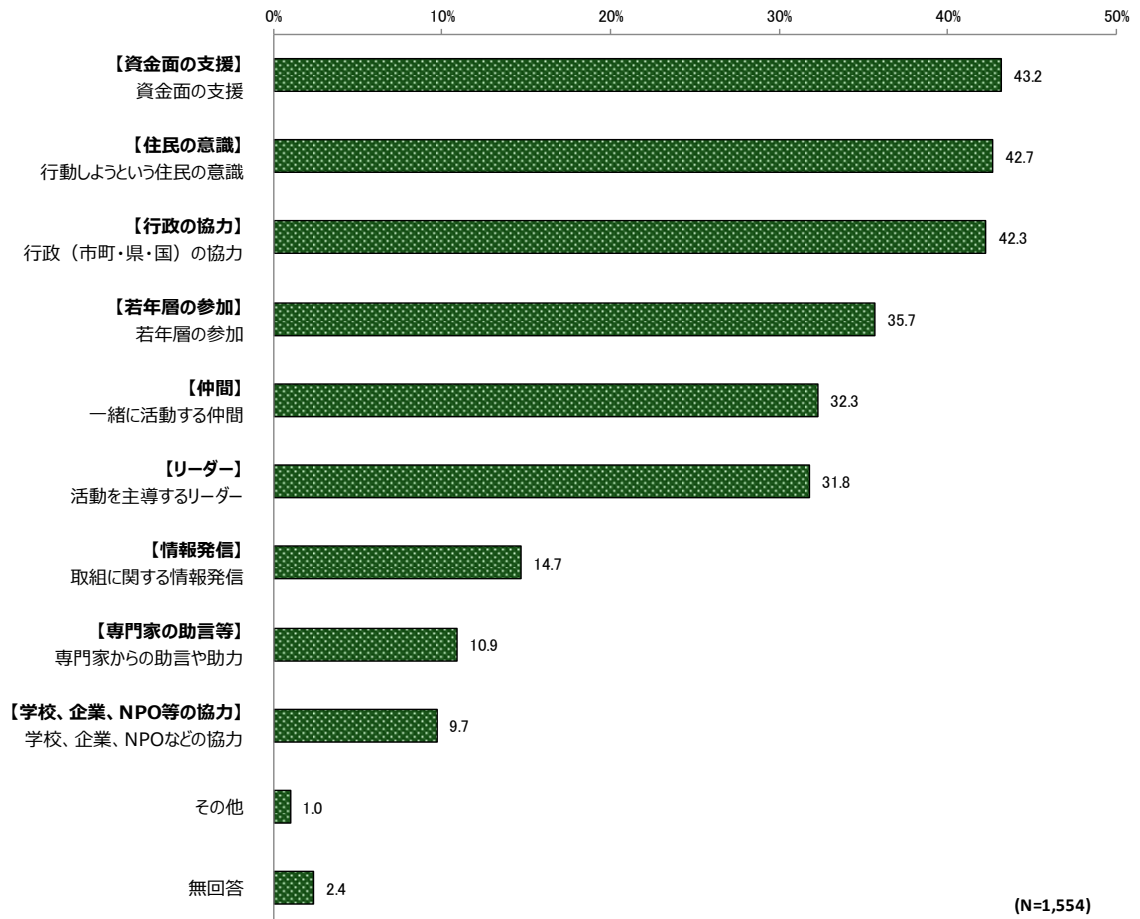
## 【自由意見】

- 何かに特化した佐賀県独自の施策を実施してほしい。（男性 / 30~39 歳 / 東・西松浦地区）
- 地域の活動において、今までの伝統主義から、住んでいる人の実態や目的に応じた住民主義にシフトしなければ、移住してきた人が定住できないと思います。子どもの数も減ってきており、地域行事が負担になるところもあるため、そのあたりの行政指導をして欲しいです。世代や考え方が、あまりに違う高齢な方の伝統主義の発言力が強すぎて若い世代に負担があり、このまま人が減っていくのではないかと不安です。（男性 / 30~39 歳 / 三養基・神埼地区）
- 身の丈に応じた行政運営をお願いしたい。佐賀県民が幸福を感じられるような取組みをしてほしい。（男性 / 40~49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 戸建で住みたいと思える環境があれば良い。福岡県にない、広々とした自然環境と教育（義務教育）の充実。県民が閉鎖的でないこと。（男性 / 40~49 歳 / 三養基・神埼地区）
- 過疎地域での、空き家の利用。（男性 / 40~49 歳 / 杵島・藤津地区）
- 人口が減少しているなかで離島の若者がクラウドファンディングをし資金集めをして島おこしをしている場面をテレビで最近よく見かける。県として資金支援等を行うことはできないのでしょうか。若者が住み続ける政策作りをしてほしいと思います。（女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区）



## 2.2. 地域づくりの取組を進める場合に重要だと思うもの

問 22 地域づくりの取組を進める場合に重要だと思うものを教えてください。(〇は3つまで)



全体では、「資金面の支援」が 43.2%と最も高く、次いで「住民の意識」が 42.7%、「行政の協力」が 42.3%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	資金面の支援	住民の意識	行政の協力	若年層の参加	仲間	リーダー	情報発信	専門家の助言等	学校、企業、NPO等の協力	その他	無回答
全体	1,554	43.2%	42.7%	42.3%	35.7%	32.3%	31.8%	14.7%	10.9%	9.7%	1.0%	2.4%
佐賀・小城地区	560	43.2%	42.0%	45.2%	36.4%	30.2%	29.3%	16.6%	10.7%	11.3%	1.8%	1.4%
東・西松浦地区	348	47.1%	44.3%	42.0%	37.6%	30.2%	31.9%	12.4%	11.5%	10.1%	0.3%	3.4%
三養基・神埼地区	344	40.4%	41.6%	39.2%	36.0%	33.4%	34.6%	15.4%	11.9%	8.1%	0.6%	1.7%
杵島・藤津地区	278	41.7%	43.2%	41.4%	32.4%	37.8%	33.5%	12.9%	9.4%	9.0%	0.7%	2.9%

エリア別でみると、<佐賀・小城地区>では「行政の協力」、<東・西松浦地区>では「資金面の支援」、<三養基・神埼地区> <杵島・藤津地区>では「住民の意識」が最も高くなっている。

## 【性別】

性別	回答件数 (件)	資金面の支 援	住民の意識	行政の協力	若年層の参 加	仲間	リーダー	情報発信	専門家の助 言等	学校、企 業、NPO 等の協力	その他	無回答
全 体	1,554	43.2%	42.7%	42.3%	35.7%	32.3%	31.8%	14.7%	10.9%	9.7%	1.0%	2.4%
男性	686	46.1%	41.1%	43.3%	37.5%	33.4%	34.0%	13.1%	10.6%	9.3%	0.6%	1.9%
女性	814	41.0%	44.2%	41.9%	34.3%	31.4%	30.3%	15.6%	11.2%	10.4%	1.4%	2.3%
答えたくない	26	42.3%	26.9%	34.6%	34.6%	26.9%	30.8%	26.9%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%

性別でみると、＜男性＞では「資金面の支援」が最も高く、＜女性＞では「住民の意識」が最も高くなっている。また、「行政の協力」については＜男性＞、＜女性＞ともに同程度、重視していることがうかがえる。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	資金面の支 援	住民の意識	行政の協力	若年層の参 加	仲間	リーダー	情報発信	専門家の助 言等	学校、企 業、NPO 等の協力	その他	無回答
全 体	1,554	43.2%	42.7%	42.3%	35.7%	32.3%	31.8%	14.7%	10.9%	9.7%	1.0%	2.4%
18～19歳	3	66.7%	66.7%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	56.6%	36.1%	31.3%	49.4%	30.1%	20.5%	10.8%	10.8%	9.6%	1.2%	2.4%
30～39歳	140	47.1%	41.4%	41.4%	40.0%	28.6%	29.3%	15.0%	10.7%	17.9%	1.4%	0.7%
40～49歳	297	47.8%	37.4%	41.4%	38.4%	25.9%	27.6%	15.2%	11.4%	14.5%	0.7%	2.0%
50～59歳	330	46.4%	37.9%	38.8%	39.4%	30.0%	30.9%	17.9%	11.5%	9.1%	0.6%	1.5%
60～69歳	412	38.6%	49.8%	45.6%	32.0%	36.2%	33.7%	11.7%	10.2%	6.3%	1.2%	3.2%
70～79歳	238	34.9%	46.6%	45.8%	28.6%	38.2%	40.3%	18.1%	10.1%	7.1%	1.3%	2.5%
80歳以上	27	33.3%	37.0%	59.3%	25.9%	40.7%	40.7%	3.7%	14.8%	3.7%	0.0%	3.7%

年齢別でみると、59歳以下では「資金面の支援」が高く、60歳以上79歳以下では「住民の意識」が高い傾向が見られた。また、＜80歳以上＞では「行政の協力」が59.3%と、他の年齢と比べてより重視していることがうかがえる。

## 【家族構成別】

家族構成	回答件数 (件)	資金面の支 援	住民の意識	行政の協力	若年層の参 加	仲間	リーダー	情報発信	専門家の助 言等	学校、企 業、NPO 等の協力	その他	無回答
全 体	1,554	43.2%	42.7%	42.3%	35.7%	32.3%	31.8%	14.7%	10.9%	9.7%	1.0%	2.4%
1人世帯	121	40.5%	48.8%	45.5%	31.4%	33.9%	28.1%	16.5%	10.7%	10.7%	1.7%	2.5%
夫婦だけ	357	36.7%	45.4%	46.2%	35.3%	33.1%	31.4%	13.4%	13.4%	6.7%	1.4%	2.8%
2世代	718	48.3%	39.4%	41.2%	36.4%	30.1%	32.3%	16.2%	10.6%	10.0%	0.7%	2.1%
3世代	296	42.2%	42.6%	39.2%	38.2%	35.5%	32.8%	12.2%	10.1%	13.5%	0.7%	1.7%
その他	35	25.7%	60.0%	42.9%	31.4%	42.9%	31.4%	14.3%	0.0%	5.7%	2.9%	0.0%

家族構成別でみると、構成によって最も重視していることにはばらつきが見られた。＜1人世帯＞では「住民の意識」、＜夫婦だけ＞では「行政の協力」、＜2世代＞では「資金面の支援」をより重視していることがうかがえる。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	資金面の支 援	住民の意識	行政の協力	若年層の参 加	仲間	リーダー	情報発信	専門家の助 言等	学校、企 業、NPO 等の協力	その他	無回答
全 体	1,554	43.2%	42.7%	42.3%	35.7%	32.3%	31.8%	14.7%	10.9%	9.7%	1.0%	2.4%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	42.4%	42.8%	42.4%	36.1%	35.1%	31.3%	12.9%	12.3%	9.1%	1.0%	2.9%
2年未満	84	38.1%	53.6%	50.0%	35.7%	29.8%	38.1%	15.5%	8.3%	9.5%	1.2%	0.0%
2～5年未満	229	48.0%	45.0%	40.6%	31.0%	38.0%	27.9%	14.4%	10.0%	7.0%	2.2%	0.4%
5～10年未満	149	47.7%	36.9%	39.6%	40.9%	28.2%	32.9%	16.8%	10.7%	10.1%	0.0%	2.0%
10年以上	384	41.7%	40.9%	41.9%	36.7%	27.1%	33.3%	17.2%	9.6%	12.5%	0.8%	2.6%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「資金面の支援」、「住民の意識」、「行政の協力」が高い傾向が見られた。特に＜2年未満＞では「住民の意識」及び「行政の協力」が5割以上であり、他の層と比べてより重視していることがうかがえる。

## 【「その他」の選択肢に記載されたもの】

- ・ 金銭的、時間的余裕。(男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 今の時代に合ったものにするためには、50歳以下の現役世代で物事を進めないと意味がないと思う。高齢者に合わせた基準にすると、若い人は皆、首都圏へと移住することを考えるし、日々が退屈である。(女性 / 30～39歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 地域のご意見番が強く言い過ぎる。(男性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ コロナを過剰に恐れない報道。(男性 / 50～59歳 / 佐賀・小城地区)
- ・ 大人が地域の一部の人をいじめ、排除しようとしていないこと。その光景は子どももみている。(女性 / 60～69歳 / 佐賀・小城地区)

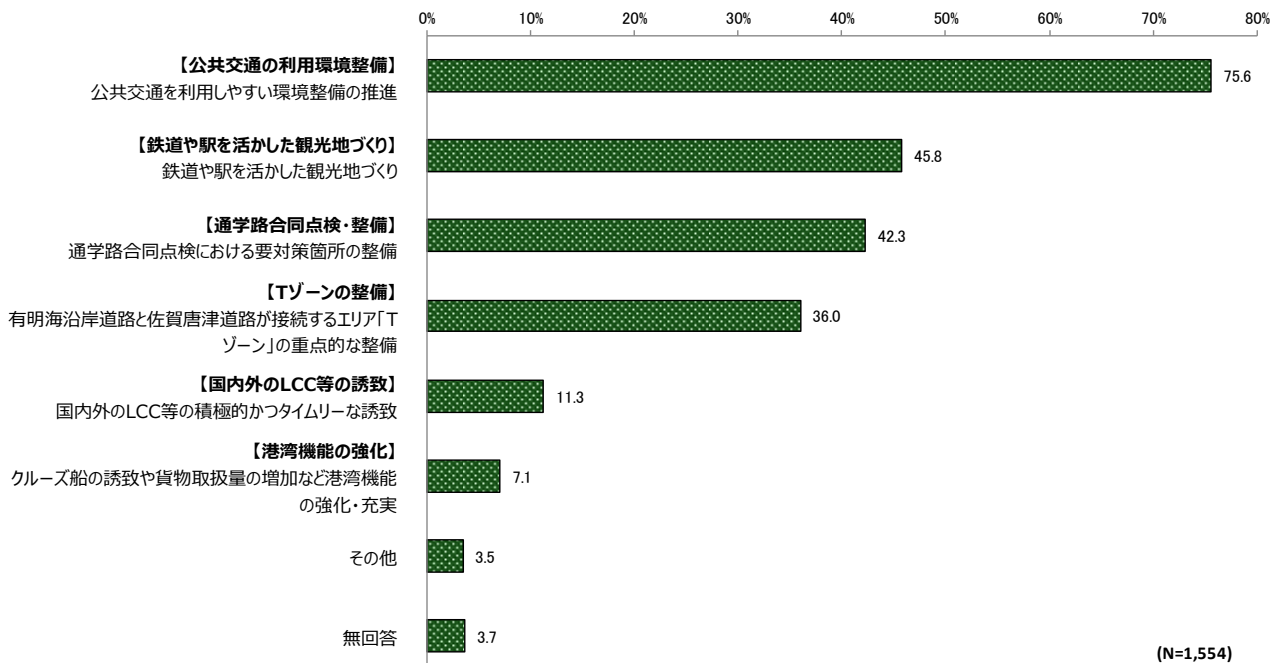
- 行政同士の協力（例えば県と市の縄張り意識の改革）。「ここは県、ここは市の管轄」と言われることが多く、物事が進まない。（男性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 区費が高い（家賃以外に年間の金額が）。（女性 / 60～69 歳 / 三養基・神埼地区）
- 親戚が来た時に観光は唐津になってしまう、佐賀市内でバルーン以外にお祭りを設けてほしい。（女性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 気づいた人が先頭にたって始める。他人任せは良くない。（女性 / 70～79 歳 / 杵島・藤津地区）
- 役所が区民へまかせっきり、役所に行動力がない。（無回答）

### 【自由意見】

- 知事をはじめ色々なことによく取り組まれているように感じています。一方で集議を含め、地域の市議町議など高齢者がほとんど。高齢者の方が悪いわけではないが、未来を考えるのであれば、未来がある若い人に努めていただきたい。若者の政治参加啓発をお願いしたい。（男性 / 40～49 歳 / 東・西松浦地区）
- 地域のために何かできることがあればやりたいと思っています。佐賀県の強いリーダーシップに期待しています。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 地域の昔からの行事など考え直す時期だと思います（地域の運動会など）。私の周りには参加しないとご近所の目もあると、仕方なく参加している人が多いです。清掃なども区費等で業者に発注すればよいと思う。そういうところを見直すなど県としても考えてほしいです。（女性 / 40～49 歳 / 三養基・神埼地区）
- 地域における人材の掘り起こしが必要だと思います。若い人も地元に残っています。しかし彼らが結びつき合っただけの活動が地域にないように思います。（男性 / 60～69 歳 / 東・西松浦地区）
- 消防団、伝承芸能等、地域の担い手への負担が年々増しているように感じます。佐賀のなかでも郊外の市町村になればなるほど当てはまるように感じます。これらの担い手たちへの補助を手厚くしてもらいたい。（男性 / 40～49 歳 / 杵島・藤津地区）

## 2.3. 交通について県に取り組んでほしいこと

問 23 道路整備や鉄道・バスなどの交通について県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。  
(〇は3つまで)



全体では、「公共交通の利用環境整備」が 75.6%と最も高く、次いで「鉄道や駅を活かした観光地づくり」が 45.8%、「通学路合同点検・整備」が 42.3%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	公共交通の利用環境整備	鉄道や駅を活かした観光地づくり	通学路合同点検・整備	Tゾーンの整備	国内外のLCC等の誘致	港湾機能の強化	その他	無回答
全体	1,554	75.6%	45.8%	42.3%	36.0%	11.3%	7.1%	3.5%	3.7%
佐賀・小城地区	560	77.7%	43.8%	42.1%	43.8%	13.6%	4.5%	4.1%	1.8%
東・西松浦地区	348	77.6%	43.1%	40.5%	32.5%	10.9%	13.8%	1.7%	2.9%
三養基・神埼地区	344	75.0%	53.8%	50.3%	18.9%	10.2%	6.7%	3.2%	2.3%
杵島・藤津地区	278	76.3%	46.8%	38.1%	48.9%	9.4%	5.0%	5.0%	2.9%

エリア別でみると、すべての地区で「公共交通の利用環境整備」が最も高くなっている。また、「鉄道や駅を活かした観光地づくり」では<三養基・神埼地区>が5割を超えており、他の地区と比べて、より重視していることがうかがえる。

### 【性別】

性別	回答件数 (件)	公共交通の利用環境整備	鉄道や駅を活かした観光地づくり	通学路合同点検・整備	Tゾーンの整備	国内外のLCC等の誘致	港湾機能の強化	その他	無回答
全体	1,554	75.6%	45.8%	42.3%	36.0%	11.3%	7.1%	3.5%	3.7%
男性	686	74.9%	47.1%	41.4%	45.9%	14.0%	10.3%	2.8%	1.2%
女性	814	77.9%	46.4%	44.5%	28.5%	8.5%	4.8%	4.1%	3.3%
答えたくない	26	80.8%	38.5%	34.6%	42.3%	23.1%	0.0%	7.7%	3.8%

性別でみると、<男性>、<女性>ともに「公共交通の利用環境整備」が最も高く、<女性>が<男性>を上回っていることから、より重視していることがうかがえる。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	公共交通の 利用環境整備	鉄道や駅を 活かした観 光地づくり	通学路合同 点検・整備	Tゾーンの 整備	国内外の LCC等の 誘致	港湾機能の 強化	その他	無回答
全体	1,554	75.6%	45.8%	42.3%	36.0%	11.3%	7.1%	3.5%	3.7%
18～19歳	3	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	78.3%	54.2%	26.5%	34.9%	15.7%	4.8%	2.4%	3.6%
30～39歳	140	76.4%	44.3%	53.6%	43.6%	12.9%	5.0%	2.9%	0.0%
40～49歳	297	77.1%	47.8%	44.4%	34.3%	13.1%	7.4%	4.4%	2.0%
50～59歳	330	80.0%	46.4%	36.4%	39.4%	11.2%	5.5%	5.2%	0.9%
60～69歳	412	75.2%	43.4%	44.2%	37.1%	8.7%	8.0%	2.4%	3.6%
70～79歳	238	74.4%	49.2%	47.1%	31.9%	11.8%	10.9%	2.9%	3.4%
80歳以上	27	74.1%	44.4%	44.4%	29.6%	11.1%	3.7%	3.7%	3.7%

年齢別で見ると、ほとんどの年齢で「公共交通の利用環境整備」、「鉄道や駅を活かした観光地づくり」が高い傾向が見られた。また、<30～39歳>では「通学路合同点検・整備」が5割を超えており、他の年齢に比べて、より重視していることがうかがえる。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	公共交通の 利用環境整備	鉄道や駅を 活かした観 光地づくり	通学路合同 点検・整備	Tゾーンの 整備	国内外の LCC等の 誘致	港湾機能の 強化	その他	無回答
全体	1,554	75.6%	45.8%	42.3%	36.0%	11.3%	7.1%	3.5%	3.7%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	73.4%	45.4%	45.1%	36.1%	7.7%	6.2%	2.9%	5.1%
2年未満	84	78.6%	42.9%	42.9%	39.3%	20.2%	8.3%	2.4%	1.2%
2～5年未満	229	77.7%	48.0%	41.0%	32.3%	11.4%	9.2%	4.8%	2.2%
5～10年未満	149	75.2%	44.3%	43.6%	36.9%	18.8%	7.4%	2.7%	3.4%
10年以上	384	78.6%	46.6%	38.3%	37.2%	13.0%	7.3%	4.4%	2.3%

居住歴別で見ると、すべての居住年数で「公共交通の利用環境整備」、「鉄道や駅を活かした観光地づくり」が高い傾向が見られた。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- 路線を含めて、電車の本数を増やす。(女性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- 自転車の交通ルールの周知。(男性 / 20～29歳 / 佐賀・小城地区)
- 近隣県への移動(通勤)時間短縮や本数の充実。(男性 / 30～39歳 / 三養基・神埼地区)
- カーシェアリングの普及。(男性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- 無駄な工事の縮小。(女性 / 30～39歳 / 杵島・藤津地区)
- 佐賀駅前の浸水対策をしてほしい。(男性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- 長崎本線の継続、特急の増便。(女性 / 40～49歳 / 杵島・藤津地区)
- 金立サービスエリアにスマートICの建設。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- 朝の登校時、中高生の自転車量が多く危険である。自転車道路の確保や安全な登下校を出来るように努めてほしい。(女性 / 40～49歳 / 三養基・神埼地区)
- 免許を返納した高齢者でも気軽に外出できるようにバスもしくは、マイクロバスの運行を増やして欲しい。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- 道路の定期的な補修。(女性 / 40～49歳 / 三養基・神埼地区)
- バスの便数・路線を増やしてください。自家用車に頼らなくてもすむようにお願いします。(女性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- 安全な通学路の確保。(男性 / 40～49歳 / 佐賀・小城地区)
- 公共交通機関の充実。(男性 / 40～49歳 / 杵島・藤津地区)
- フリーゲージでない普通の新幹線。(男性 / 50～59歳 / 三養基・神埼地区)
- 西九州道の2車線化。(男性 / 50～59歳 / 東・西松浦地区)
- バスの本数を増やす。(女性 / 50～59歳 / 佐賀・小城地区)
- 相知～唐津間の交通整備。(女性 / 50～59歳 / 東・西松浦地区)

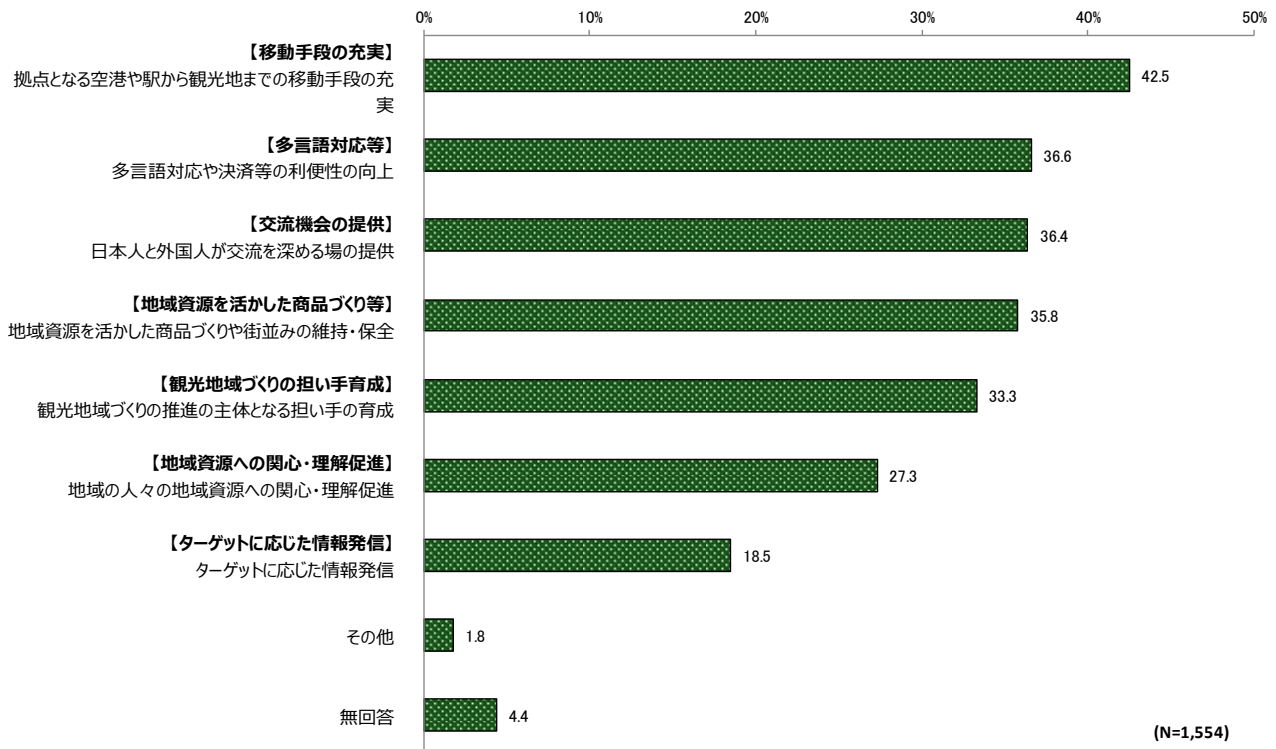
- 免許を返納した高齢者に対する交通手段の確保。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- けやき台でのシャトルバスの運行。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 高齢者が利用しやすい交通環境。(女性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 自転車専用道路が必要。(答えたくない / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- バスが不便すぎる。(男性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 高齢者の免許証返納が進むような支援の検討、実施。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 交通手段がない地域での公共交通の確保。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 過疎地域においては格安送迎や循環バスなどの充実。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 佐賀駅から佐賀空港までの観光モノレールを建設してほしい。移動中佐賀平野を一望できるような、観光で佐賀を知るようなものをつくってほしい。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 有明海沿岸道路の早期延伸。(男性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 長崎本線かもめが9月より減りますが、もう少し増やしてほしいです。(女性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 私の地域は何も通らない所で、タクシー利用をもっと考えてほしい。行く場所が限られて思う場所に行けない。(女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 開発道路はどれかに集中して早期に完成させて下さい。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- バスの利用(福岡の100円バスのような)の充実。車社会からの脱出を促進してほしい。(女性 / 60~69 歳 / 三養基・神埼地区)
- 新幹線のフル規格による早期の整備。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 高校生など遠距離通学をする学生のために自転車道路の整備をしてほしい。(女性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 新幹線が通るとますます不便になると思う。(女性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 自転車の専用道路の整備をもっと重点的に、早くしてほしい。(女性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- 長崎新幹線全線整備を早急に願いたい。(男性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)
- 自転車での生活が出来るように、歩道・自転車道の整備拡充。(男性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 佐賀空港の滑走路を延伸してほしい。(男性 / 70~79 歳 / 佐賀・小城地区)
- 西九州新幹線のフル規格での整備。(女性 / 80 歳以上 / 杵島・藤津地区)

## 【自由意見】

- 有明沿岸道路の整備をもっと進めてほしいです。(男性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 交通網の更なる整備。全世代が住み良い安心安全な街作り。魅力的な県政作り。(男性 / 20~29 歳 / 三養基・神埼地区)
- 佐賀県に来やすい又は他県に行きやすいような公共交通機関の設置。(男性 / 20~29 歳 / 東・西松浦地区)
- 佐賀県は車社会なので道路と歩道の整備に力を入れていただきたいです。また、道路の白線が消えている場所がありますので、整備し、県内全域の改善をお願いします。(女性 / 20~29 歳 / 佐賀・小城地区)
- 子どもの通学路は車が多く、カードレールなどありません。信号機のない横断歩道しかなくスピードを出している車も多いため、怖くて仕方ありません。市、県職員の方にご連絡した事もあります「こちらでは対応出来ません」との事ばかり。悲しい気持ちです。県はどういう風に誰にお伝えしたら子どもを守ってくれるのかと、今もずっと考えています。せめて歩道に駐車禁止のマークが欲しいですね。(女性 / 30~39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 新幹線の整備にばかり重きを置かず、並行在来線の沿線地域の交通の利便性確保、生活の確保にも力を入れていただきたい。このままでは衰退化が免れない。(男性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 県東部の道路整備が遅れている。(男性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)

## 2 4 . 外国人観光客、留学・実習生など受入れのため県に取り組んでほしいこと

問 24 外国からの観光客、留学・実習生などの受入れを進めるうえで県に取り組んでほしいと思うことを教えてください。（〇は3つまで）



全体では、「移動手段の充実」が 42.5%と最も高く、次いで「多言語対応等」が 36.6%、「交流機会の提供」が 36.4%となっている。

### 【エリア別】

エリア	回答件数 (件)	移動手段の充実	多言語対応等	交流機会の提供	地域資源を活かした商品づくり等	観光地域づくりの担い手育成	地域資源への関心・理解促進	ターゲットに応じた情報発信	その他	無回答
全体	1,554	42.5%	36.6%	36.4%	35.8%	33.3%	27.3%	18.5%	1.8%	4.4%
佐賀・小城地区	560	45.9%	35.2%	38.0%	38.9%	33.2%	27.3%	17.7%	2.1%	1.6%
東・西松浦地区	348	37.9%	33.3%	34.5%	36.2%	35.6%	33.3%	22.1%	1.1%	6.3%
三養基・神埼地区	344	41.6%	41.0%	38.7%	34.6%	32.0%	23.0%	18.6%	1.2%	2.6%
杵島・藤津地区	278	45.7%	41.0%	35.3%	33.1%	34.9%	27.3%	16.5%	2.9%	2.2%

エリア別で見ると、すべての地区で「移動手段の充実」が最も高くなっている。また、＜三養基・神埼地区＞、＜杵島・藤津地区＞では「多言語対応等」がともに 4 割を超えており、他の地区に比べて、より重視していることがうかがえる。



## 【性別】

性別	回答件数 (件)	移動手段の 充実	多言語対応 等	交流機会の 提供	地域資源を 活かした商 品づくり等	観光地域づ くりの担い 手育成	地域資源へ の関心・理 解促進	ターゲット に応じた情 報発信	その他	無回答
全 体	1,554	42.5%	36.6%	36.4%	35.8%	33.3%	27.3%	18.5%	1.8%	4.4%
男性	686	43.6%	36.3%	39.1%	39.2%	35.7%	28.9%	19.7%	1.5%	2.5%
女性	814	42.1%	38.3%	35.3%	33.8%	32.7%	27.1%	17.7%	1.8%	3.4%
答えたくない	26	53.8%	30.8%	34.6%	34.6%	23.1%	7.7%	19.2%	11.5%	3.8%

性別でみると、〈男性〉、〈女性〉ともに「移動手段の充実」が最も高くなっている。また、〈男性〉では「地域資源を活かした商品づくり等」が 39.2%と、女性と比べてより重視していることがうかがえる。

## 【年齢別】

年齢	回答件数 (件)	移動手段の 充実	多言語対応 等	交流機会の 提供	地域資源を 活かした商 品づくり等	観光地域づ くりの担い 手育成	地域資源へ の関心・理 解促進	ターゲット に応じた情 報発信	その他	無回答
全 体	1,554	42.5%	36.6%	36.4%	35.8%	33.3%	27.3%	18.5%	1.8%	4.4%
18～19歳	3	33.3%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
20～29歳	83	41.0%	42.2%	43.4%	44.6%	30.1%	18.1%	16.9%	0.0%	1.2%
30～39歳	140	35.7%	49.3%	35.0%	40.7%	22.9%	28.6%	26.4%	3.6%	1.4%
40～49歳	297	36.7%	40.7%	38.4%	35.4%	25.6%	26.9%	25.9%	1.7%	3.4%
50～59歳	330	41.2%	36.1%	37.3%	33.0%	37.3%	27.3%	17.9%	3.6%	1.5%
60～69歳	412	48.3%	32.3%	35.4%	36.4%	36.4%	28.4%	17.2%	1.0%	3.6%
70～79歳	238	49.6%	34.9%	35.3%	37.8%	41.2%	29.8%	10.1%	0.8%	4.2%
80歳以上	27	48.1%	18.5%	37.0%	29.6%	48.1%	37.0%	3.7%	0.0%	11.1%

年齢別でみると、50 歳以上では「移動手段の充実」が高い傾向が見られた。また、30 歳以上 49 歳以下では「多言語対応」が最も高くなっている。

## 【佐賀県以外への居住歴別】

県外居住年数	回答件数 (件)	移動手段の 充実	多言語対応 等	交流機会の 提供	地域資源を 活かした商 品づくり等	観光地域づ くりの担い 手育成	地域資源へ の関心・理 解促進	ターゲット に応じた情 報発信	その他	無回答
全 体	1,554	42.5%	36.6%	36.4%	35.8%	33.3%	27.3%	18.5%	1.8%	4.4%
ずっと佐賀県に住んでいる	689	40.2%	37.0%	35.4%	36.4%	34.0%	28.0%	16.1%	1.2%	5.1%
2年未満	84	40.5%	35.7%	29.8%	44.0%	44.0%	38.1%	17.9%	1.2%	1.2%
2～5年未満	229	44.1%	35.8%	34.1%	32.8%	31.9%	26.6%	24.9%	2.2%	4.8%
5～10年未満	149	43.6%	38.3%	43.0%	38.9%	24.8%	30.2%	19.5%	1.3%	2.0%
10年以上	384	45.8%	36.5%	38.3%	33.9%	33.6%	23.7%	19.0%	3.1%	4.2%

居住歴別でみると、ほとんどの居住年数で「移動手段の充実」が高くなっている。また、〈2 年未満〉では「地域資源を活かした商品づくり等」、「観光地域づくりの担い手育成」も、重視していることがうかがえる。

## 【「その他」の選択肢に記載された取組】

- 外国人より先に日本人に支援してほしい。(男性 / 30～39 歳 / 杵島・藤津地区)
- 住民が外国人に対して困ったことがあった時、相談できる所があるといい。(女性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 治安が悪くなるので要りません。(答えたくない / 30～39 歳 / 三養基・神埼地区)
- 実習生が住みやすい環境の提供。支援団体が中途半端に支援して、辛い思いをされている方がいます。(女性 / 30～39 歳 / 杵島・藤津地区)
- 外国人に向けて交通ルールや地域のルール厳守を徹底するように指導をお願いします。(女性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区)
- 県民の 7 割が英語話者になるような取組。(答えたくない / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- バルーン県として、バルーンを使った観光事業への取組み。(男性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 外国語勉強会、他国の習慣等を知る事ができる場を作ってほしい。(女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区)
- 移住元の地域コミュニティー情報交換の場所の整備。(男性 / 40～49 歳 / 杵島・藤津地区)
- 留学・実習生のサポート。(女性 / 50～59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 外国からではなく、国内からの観光客の増加について力をいれるべきと考えます。(男性 / 50～59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 県民が外国語を学べる場。(答えたくない / 50～59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 留学実習生に対しての運転マナー(車、自転車)の教育。(女性 / 50～59 歳 / 三養基・神埼地区)

- 県の水や空気がきれいなことは財産です。中国人や中東の人など環境に価値を見出す対象へのアプローチと観光や誘致を推進すればいいと思うのですが。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 空き家などを利用し、外国の方を積極的に受け入れることのできる体制づくり(ウクライナ避難民も含めて)。(女性 / 50~59 歳 / 杵島・藤津地区)
- 佐賀県は観光地が少ないが、通過点でもいいので嬉野や武雄、太良、古湯などの宿泊の方に力を入れたらよいと思う。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 留学生や外国から佐賀へ移住する人のための助成金や支援をしてほしい。(女性 / 50~59 歳 / 佐賀・小城地区)
- 外国人留学生を入れると犯罪が増えるので大反対。(男性 / 50~59 歳 / 東・西松浦地区)
- 外国観光客はいりません。(男性 / 60~69 歳 / 杵島・藤津地区)
- 無制限な受入れ、支援はやめて欲しい。(女性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 観光客への体験活動の推進。(男性 / 60~69 歳 / 佐賀・小城地区)
- 言語教室を開いてほしい。(男性 / 70~79 歳 / 東・西松浦地区)

### 【自由意見】

- 佐賀の魅力为全国はもちろん世界にも発信し、「佐賀に行ってみたい、住んでみたい」とたくさんの人に思われるようにしてほしい。(女性 / 50~59 歳 / 三養基・神埼地区)
- 佐賀県のイメージアップにつながる事業を推進して欲しい。特に、県外や海外の人から見た魅力は、県民にとっても新鮮。(男性 / 60~69 歳 / 東・西松浦地区)
- 佐賀も福岡と同程度、文化・教育・観光に力を入れてほしい。また、県民が他県に流れないよう、人材を集め暮らしやすい佐賀にしてほしい。(男性 / 70~79 歳 / 杵島・藤津地区)

## V 自由意見

意見のカテゴリー ※問1～8までは該当なし	件数
問9 地震や台風などへの災害対策について	37件
問10 治安や安全について	24件
問11 子育て環境について	61件
問12 教育環境について	37件
問13 高齢者や障害者福祉について	90件
問14 医療体制について	9件
問15 環境対策について	12件
問16 農林漁業の振興について	22件
問17 商工業・サービス業の振興について	34件
問18 佐賀県のイメージについて	39件
問19 文化・芸術について	8件
問20 スポーツ環境について	10件
問21 住みやすい地域づくりについて	32件
問22 自発的な地域づくりについて	9件
問23 公共交通機関、交通インフラについて	61件
問24 国際化について	3件
職員・行政への評価	54件
アンケートについて	36件
新幹線整備について	22件
雇用・所得拡大	19件
県の施策、取組についての県民への情報発信	20件
自衛隊の空港使用要請について	11件
原発について	3件
駅前跡地整備・活用	1件
その他	45件

### ■その他の自由意見について（抜粋）

#### 【職員・行政への評価】

- 行政窓口の充実、オンライン手続化。（男性 / 50～59歳 / 佐賀・小城地区）
- 県政に望むことは、一時的なイベント、大会にたくさんのお金を使うことより、今住んでいる県民の暮らしが安心して豊かになるよう、県民のために税金を使っていただくこと。佐賀県に住んでいて本当に良かったと一人一人が思えば、他県にも伝わり、住んでみたいと思えるのではと思います。都会にはない自然を使って、農業、水産に力を入れて、食に豊かな県をアピールしてほしいです！（女性 / 50～59歳 / 東・西松浦地区）
- 県職員の接遇態度を改めてほしい。自分から声をかけ、親切に笑顔で対応するよう改めてほしい。（女性 / 70～79歳 / 杵島・藤津地区）

### 【アンケートについて】

- 佐賀県の食、歴史、観光に十分に力を入れて活性化していくことを望みます。アンケートは特に目立った事業がなかったため、印象には残っていません。たくさんの計画が羅列されていましたが、内容はだまかで具体性がなく、答えにくかったです。詳しい内容は分かりませんが、行われている事業や今後行われるであろう事業を知る機会にはなりました。ありがとうございます。（女性 / 40～49 歳 / 東・西松浦地区）
- 市の行っていることはたまに市役所にも行くし何となく分かるのですが、県になると県庁にも行くことがないしよく見えません。なので〇〇をしてほしいなどの意見も書けません。（男性 / 50～59 歳 / 三養基・神埼地区）

### 【新幹線整備について】

- 西九州ルート新鳥栖駅～武雄温泉駅は不要、在来線が不便になる。新幹線反対を明確にしてほしい。（男性 / 60～69 歳 / 佐賀・小城地区）
- 新幹線に関して、武雄、新鳥栖間の整備は必要ではない。在来線特急で十分である。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 長崎新幹線効果を期待します。（男性 / 70～79 歳 / 東・西松浦地区）

### 【雇用・所得拡大】

- 派遣社員からの社員登用に取り組んでほしい。最低賃金を東京くらいまで上げてほしい。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 佐賀県も人口減少が問題です。若い人の県外転出を抑え、出産や子育てが出来るように経済的に豊かになれる施策が必要です。（男性 / 70～79 歳 / 杵島・藤津地区）

### 【県の施策、取組についての県民への情報発信】

- 県のプロジェクトは聞いたこともないものが多くあり、自分自身も驚いている。PR、情報発信はどのように行っているのでしょうか。情報が行き届いているのでしょうか。（女性 / 50～59 歳 / 東・西松浦地区）
- 県政の施策に関しては、首長の責任においてその裁量も違ってくと思います。端的に実行できるもの、長期に及ぶもの等、多種多様だと思います。パフォーマンスも若干は必要と思いますが、長期に及ぶ施策は、都度都度その進捗率を公表されるとその努力が県民に見える心も深まると思います。御活躍を祈念します。（男性 / 70～79 歳 / 佐賀・小城地区）
- 様々な面からのいわゆる「弱者」への支援にもっと力を入れてほしい。本当に困っている子ども達、家庭（家族）は相談窓口があまりに少なく、しかも周知徹底がなされていなくて、困り果てている。その数が増えて来ていることに危機感を持って対応する優しい県佐賀として発展してほしい。（女性 / 70～79 歳 / 三養基・神埼地区）
- 県民だより、毎回読むようにしていますが、読んだこともない人が多いそうです。もっと読む人が増えるような工夫がないのでしょうか。県の取り組みを知ってほしい。学生にも読ませてほしい。（女性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）

### 【自衛隊の空港使用要請について】

- 西九州新幹線、オスプレイ配備の早期決着。（男性 / 50～59 歳 / 東・西松浦地区）
- 新幹線、オスプレイ及び堤防開閉等の未解決問題を先送りせず、国や隣（他）県と良好な関係を構築して早急に解決してほしい。（男性 / 60～69 歳 / 三養基・神埼地区）

### 【その他】

- 結婚して佐賀に来ました。とても暮らしやすく子育ても楽しいです。地元の方が「何も無いけん…」と言われますが、有明海や焼物、歴史、食べ物等、魅力的です。県や市のPRもおもしろいと思います。地元の方々の佐賀に対するマイナスイメージがなくなるといいなあと思います。先日、プリンテレビもおもしろかったです。食べてみたいです。（女性 / 30～39 歳 / 佐賀・小城地区）
- どんなくだらないことでもかまわないので、日本初の取り組みにチャレンジしてほしい。また、チャレンジの結果としての失敗を大いに奨励する精神を養う教育を実施してほしい。よろしく願いいたします。（男性 / 40～49 歳 / 佐賀・小城地区）
- 県政のキーマンのポストにいる方には民間企業のキーマン達と懇談ができる場を作ってあげて欲しい。例えば佐賀県からの優秀な人材の他県への流出防止には県としてどう取り組むべきかとか、県の学力レベルを上げるためにはどうすればいいかとか、民間とプロジェクトチームを作って答申させるとか、現役でなくてもリタイア人の能力のある人達をリクルートしたい。市長や社長推薦でもいい。個人レポートでもいい。柔軟に考えて下さい。（男性 / 70～79 歳 / 三養基・神埼地区）